

視察・調査活動 実施計画書 政務活動費 《事前》審査書				整理番号	0604001-1	
				会派名	富山市議会自由民主党	
				議員名	田辺 裕三	
■ 調 査 研 究 費		会 派 承 認 欄				
☐ 研 修 費	起 案 日	代 表 者	経 理 責 任 者	申 請 者 (議 員)		
☐ 広 報 広 聴 費	R6.4.22					
☐ 要 請 ・ 陳 情 活 動 費	承 認 日					
☐ 会 議 費	R 6 . 4 . 2 6					
☐ 資 料 作 成 費	特 記 事 項					
☐ 資 料 購 入 費	鋪田博紀 0615001 横野 昭 0613001 成田光雄 0612002					
☐ 人 件 費	松井邦人 0606002 豊岡達郎 0605002 田辺裕三 0604001					
☐ 事 務 費						
項 目		内 容			留意点	
1	実施者	田辺裕三、豊岡達郎、松井邦人、成田光雄、横野昭、鋪田博紀(以上6名)				
2	実施日程	令和6年5月7日(火)～8日(水)				
3	行程	行程表の通り ※別途添付			政務活動のための合理的な経路か。 政務活動以外の行旅が含まれていないか。 宿泊が必要か。	
4	視察 1	視察・調査先	潮来市			目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、事前調査の結果等はどうか。
		視察・調査先 面談予定者	潮来市役所(潮来市辻626 0299-63-1111) 担当 未定			
		視察・調査の 目的、内容	【内容】液状化対策について先進事例を学ぶ 【目的】液状化対策の実施に向け、先行事例を学び反映させていく			
	視察 2	視察・調査先	千代田区			
		視察・調査先 面談予定者	参議院議員会館(千代田区永田町2-1-1 03-3581-3111) 担当 吉田信博【大臣官房参事官(宅地・盛土担当)】			
		視察・調査の 目的、内容	【内容】液状化対策について先進事例を学ぶ 【目的】液状化対策の実施に向け、先行事例を学び反映させていく			
	視察 3	視察・調査先				
		視察・調査先 面談予定者				
		視察・調査の 目的、内容				
5	実施経費 及び 政務活動費の 支出予定額 (振込手数料含まない)	交通費	29,720円			対象費用及び単 価見積が適切 か。 政務活動費充当 方法は適切か。 按分率適用の分 母は適切か。(混 在不明瞭な部分 が対象。明確な 部分は当初除外 してあるか。)
		日当	3,000円/日×2日			
		宿泊費	11,500円			
		その他				
		合計額	47,220円			
		按分率(充当率)	100% ・ 50%			
		支出額(合計額×按分率)	47,220円			
6	取引規定	■抵触なし			取引制限の確認	

0604001

御 旅 程 表

JAなのhana 生活課 観光事業

富山市豊田本町3-18-21

TEL 076-438-2214

FAX 076-438-3670

令和6年4月18日

担当

富山市議会自由民主党 田辺裕三 様			旅行先		潮来・東京 行政視察			
旅行日			令和6年5月7日 令和6年5月8日		人数	大人 男 女	小人 計	1泊 2日
							6	車船中泊 旅館 1泊
日程	月日	曜日	行程表					
1	5月7日	火	7:22 9:32 10:00 富山駅===かがやき502号===東京駅...徒歩5分...東京駅===高速バス=== 11:20 13:30~ 15:30 15:55 ===水郷潮来ターミナルビル===潮来市役所(視察)===水郷潮来ターミナル 17:35 ===高速バス===東京駅...徒歩7分...ホテル TEL 03-3241-0202 チェックイン15:00 チェックアウト10:00 *京王プレッソイン大手町(1泊朝食 シングル 禁煙)					
2	5月8日	水	9:30~11:00 ホテル===参議院会館(視察)===東京駅 13:24 15:54 東京駅===はくたか565号===富山駅 *東京駅~水郷潮来ターミナルビル...予約制ではなく先着順との事です					

概 算 費 用 御 見 積 り				(責任人数 6名)		
J	R	富山駅~東京駅 往復	25,520	宿泊料金	1泊朝食サ税込	11,500
高 速 バ ス		東京駅~潮来バスターミナル 往復	4,200	食事費		
				宴会費		
定期観光バス代						
高速有料道路代						
有 料 駐 車 代				寸志・その他		
ハ'ス航送代				添乗経費		
乗 船 券				乗務員昼食		
入 場 入 拝 料				お一人様費用計		41,220

コースの見方

- バス ・
- 車 ☺
- JR □
- 私鉄 ■
- 飛行機・
- フェリー ・
- タコシー ・
- 徒歩 ・

富山市議会 自由民主党 視察行程表

日程 令和 6 年 5 月 7 日(火) ～ 8 日(水)

5月7日 (火)	JR新幹線かがやき502号 徒歩 5分 高速バス・関東鉄道バス 「鹿島神宮」行きか「鹿島セントラルホテル」行き タクシー 10分			
	富山駅	東京駅	東京駅前 (八重洲南口1番 乗り場)	水郷潮来バスターミ ナル
	7:22 発	9:32 着	10:00 発	11:20 着
5月8日 (水)	視察 タクシー 10分 JR新幹線はくたか565号			
	潮来市役所	水郷潮来バス ターミナル	東京駅前	ホテル
	13:30 着	15:30 発	15:55 発	17:35 着
			17:50 着	
	【視察項目】 液状化対策について 【宿泊ホテル】 京王プレッソイン大手町			
5月8日 (水)	視察 JR新幹線はくたか565号			
	ホテル	参議院会館 (地下101会議室)	東京駅	富山駅
		9:30 ～ 11:00	13:24 発	15:54 着
	【視察項目】 液状化対策について 講師:大臣官房参事官(宅地・盛土担当) 吉田 信博			

視察・調査活動 実績報告書 政務活動費【事後】審査書 兼 支出伝票				整理番号	0604001-2	
				会派名	富山市議会自由民主党	
				議員名	田辺 裕三	
■	調 査 研 究 費	起 案 日	会 派 承 認 欄			
□	研 修 費	R6.7.5	代表者	経理責任者	申請者(議員)	
□	広 報 広 聴 費	承 認 日	田 辺	豊 岡	田 辺	
□	要 請 ・ 陳 情 活 動 費	R 6. 7. 19				
□	会 議 費	支払件数	1	支払日(口座振込完了日)	R 6. 7. 22	
□	資 料 作 成 費	起 案 日	支 払 完 了 報 告			
□	資 料 購 入 費	R 6. 7. 22	代表者	経理責任者	申請者(議員)	
□	人 件 費	承 認 日	田 辺	豊 岡	田 辺	
□	事 務 費	R 6. 7. 31				
特 記 事 項						
鋪田博紀 0615001 横野 昭 0613001 成田光雄 0612002 松井邦人 0606002 豊岡達郎 0605002 田辺裕三 0604001						
項 目		内 容			留 意 点	
1	実施者	富山市議会自由民主党会派 田辺議員				
2	実施日程	令和6年5月7日(火)～8日(水)				
3	行程	別紙の通り			政務活動のための合理的な経路か。政務活動以外の行程が含まれていないか。宿泊が必要か。	
4	視察 1	視察・調査先	潮来市役所			目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、事前調査の結果等はどうか。
		視察・調査先 面談予定者	潮来市役所: 峰松剛志、石山 洵			
		視察・調査の 目的、内容	【内容】液状化対策について先進事例を学ぶ 【目的】液状化対策の実施に向け、先行事例を学び反映させていく			
	視察 2	視察・調査先	参議院議員会館101会議室			
		視察・調査先 面談予定者	国土交通省: 吉田 信博			
		視察・調査の 目的、内容	【内容】液状化対策について先進事例を学ぶ 【目的】液状化対策の実施に向け、先行事例を学び反映させていく			
	視察 3	視察・調査先				
		視察・調査先 面談予定者				
		視察・調査の 目的、内容				

項目	内容	留意点
5 視察・調査活動の内容	(視察1) 2011.3.11に発生した東日本大震災時、茨城県潮来市日の出地区で液状化現象が発生し甚大な被害を被った。今回の視察は、当時の現地状況からその後の対応策について潮来市役所でお話をお伺いした。液状化は地下水位が高く地盤の緩い場所でおこる現象で砂と水が地表面に吹き出し地盤が崩れ建物の沈下や地割れなどを引き起こす。この日の出地区は遠浅の海を開拓して造成された宅地だとのこと。2012.04に液状化対策検討委員会を立ち上げ専門家を交えながら何度も協議・実験・検証をした。地下水位低下工法を採用し住民に提言したとのこと。この提言を踏まえ地権者等への事業説明会を11回開催し、地権者の2/3以上の同意・合意形成を得て復興庁へ液状化対策事業計画を提出した。全国で初めて復興交付金を活用した液状化対策事業に着手することになった。液状化対策工事は2つの方法で行われ、幹線道路の地下部にボックスカルバートを据付その左右に地下水排水管を施工する方法と、車道部及び歩道部の地下部に地下水排水管を設置する方法であった。そして排水ポンプ場から地区外に排水することで地表より3m以上 地下水位を低下させた。 排水を行う為の維持管理や電気代等で、年間1,800万円程度の費用がかかっている。(視察2) 参議院会館において国交省・吉田参事官で国の対応策を伺った。再度液状化防止工法(建屋の建替時における個別対策)としては、①建物直下の層状締固め工法②建物直下の層状固化工法③建物直下の格子状改良工法④建物直下の水圧消散工法があるが一番安価で使用されているのが①の層状締固め工法だそうです。また地表から3mまでの地層を改良する方法と地下水位を3m低下させる方法があるが、建屋がある場合とない場合では費用が異なる。また、施工エリアが狭い場合と広い場合でも費用が異なるので、どの工法を選択するか地元住民との合意形成に時間がかかると言われた。 事業を進める為には、補助方法について富山市としてどの工法を選択するか考える必要がある。まずは市道の宅地液状化防止事業エリアを決定し、その後効果促進事業として住宅エリアを決定する流れがいいのではないかとアドバイスを受けた。	目的と市、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、会派内での報告・情報共有等の対応等。 政務活動のみの内容か。 政務活動以外の政党活動、選挙活動、後援会活動等とみなされる表現、構成になっていないか。 政務活動費を支出できる内容か。 (全額、1/2、支出不可)
市政への影響、反映、成果等	(視察1) 2024.01.01に発生した能登半島地震において富山市荻浦校下東連町や新庄校下で液状化被害が発生した。住民の方から不安な心境や今後の生活設計に思いを馳せている方が多いことから先進事例として潮来市の事例を視察させていただきました。参考になる点がいくつかありました。地盤が緩く、地下水位が高いことが液状化を起こしやすい要因とわかった。地下水位低下を3メートル下げることによって液状化が起こりにくくなるためその方法を採用したとのこと。住民の合意形成にとっても時間と労力がかかるようだが富山市としても被害を受けた住民の合意形成には町内会の方々との会合を頻繁に行い、しっかり合意形成を図る必要があると思った。また富山市でも点と面で対策を打っていかねばならないが、仮に地下水位低下工法を採用するにしても事前調査(ボーリング等)をしっかりと行って頂きたいと思う。エリアをしっかりと決めて矢板で囲う必要がある。そうでないと周辺地域に地盤沈下などの被害が出る可能性があるとのこと。(視察2) 参議院会館で国の対応策についてお話を伺った。地方自治体がいかにしっかりと対策や支援の枠組みを作ってくれば国はしっかりと後押し支援していくと心強いお話をうかがえた。個人の資産である住宅においても地盤改良や住宅の傾きの修繕にも対応すると聞き大変ありがたいお話がうかがえたこれは早速富山市においても対策を進めれるのではないかと考えました。	
その他及び 政務活動以外で 取り扱った内容		

項 目		内 容			留意点	
実施経費 及び 政務活動費支出額	旅費	支出金額	41,220円	支出方法	☐ 債権者口座 ☒ 議員口座（立替）	対象費用及び単価見積が適切か。 按分率適用の分母は適切か。 政務活動費充当方法は適切か。 （混在不明確な部分が対象。明確な部分は当初除外してあるか。）
		支出先	田辺議員【立替え支払い先】なのはな農協			
		支出内容及び積算根拠	JR代 25,520円（富山駅-東京駅：往復） バス代 4,200円（東京駅-潮来バスターミナル：往復） 宿泊費 11,500円 別紙領収書のとおり			
	日当	支出金額	6,000円	支出方法	☐ 債権者口座 ☒ 議員口座（立替）	
		支出先	田辺議員			
		支出内容及び積算根拠	5月7日（火）～8日（水）2日 3,000円/日×2日			
		支出金額		支出方法	☐ 債権者口座 ☐ 議員口座（立替）	
		支出先				
		支出内容及び積算根拠				
		支出金額		支出方法	☐ 債権者口座 ☐ 議員口座（立替）	
		支出先				
		支出内容及び積算根拠				
		支出金額		支出方法	☐ 債権者口座 ☐ 議員口座（立替）	
		支出先				
		支出内容及び積算根拠				
取引規定		■抵触なし				
経費総額		47,220円	按分率（充当率）	100%・50%		
按分率適用対象経費及び按分理由						
政務活動費支出（充当）額		47,220円				

貼付用紙

No. 252519

領 収 書

富山県議会

自由民主党

田辺 裕三

様

令和 6 年 4 月 30 日

千	百	拾	万	千	百	拾	円
9			7	4	1	2	20

但 毎月米行より通費・宿代として

上記正に領収いたしました



なのhana 農業協同組合

〈ご注意〉組合の領収年月日および取扱者印のないものは無効です。また、訂正した場合、訂正印のないものは無効です。
領収いたしました小切手・手形等が万一決済されなかったときは、本書と引換えに小切手・手形等をお返しいたします。

収入印紙

取扱者印



振 替 証 明 書

会派名 富山市議会自由民主党

金 額	47,220	円
-----	--------	---

上記金額を次の者の口座へ振替したことを証明します。

令和6年7月22日

経理責任者

豊岡 達郎



氏 名	田辺 裕三	受領印	
-----	-------	-----	--



№0604001

6

年月日	摘要	お支払い金額 (円)	お預かり金額 (円)	残し引き残高 (円)
1 06-07-01		*100,540	ホクデンカンキョウ	*3,911,076
2 06-07-02		*3,380	トマシフン	*3,907,696
3 06-07-02		*3,900	トマシフン	*3,903,796
4 06-07-05*		*91,670	普通預金 金谷 譲 廣	*3,812,126
5 06-07-05*		*3,380	普通預金 高道 謙 廣	*3,808,746
6 06-07-05	振込資金	*54,771	デビュカウソト代	*3,753,975
7 06-07-05	振込資金	*2,165	インターネット代	*3,751,810
8 06-07-16	電話料	*3,008	0764316101	*3,748,802
9 06-07-22	振込	トマシカカイヨムカ	*6,750,000	*10,498,802
10 06-07-22		*39,710	ホウトウシステム	*10,459,092
11 06-07-22*		*91,670	普通預金 成田 謙 廣	*10,367,422
12 06-07-22*		*3,380	普通預金 成田 謙 廣	*10,364,042

13 06-07-22*		*91,670	普通預金 高道 謙 廣	*10,272,372
14 06-07-22*		*91,670	普通預金 高田 直 謙 廣	*10,180,702
15 06-07-22*		*3,380	普通預金 高田 直 謙 廣	*10,177,322
16 06-07-22*		*91,670	普通預金 金川 謙 廣	*10,085,652
17 06-07-22*		*47,220	普通預金 田辺 謙 廣	*10,038,432
18 06-07-22*		*91,670	普通預金 田辺 謙 廣	*9,946,762
19 06-07-22*		*3,380	普通預金 高田 謙 廣	*9,943,382
20 06-07-22*		*76,120	普通預金 飯山 謙 廣	*9,867,262
21 06-07-22*		*23,835	タブレット端末 通信料	*9,843,427
22 06-07-22*		*8,998	コピー用紙代	*9,834,429
23				
24				

(お知らせ)

1. 通帳の提出のあるお取引のときは年月日欄に*と表示します。
2. 通帳をお預け入れのときは、お支払い金額に次のとおり表示します。
デビュ 00-00
トリダテ 00-00

お支払いできる日

お支払できる期間は、所定の
本支店営業時間となります。

普通預金通帳

店番

富山市議会自由民主党様



北陸銀行



潮来市

建設部
都市建設課
課長補佐

峰 松 剛 志

〒311-2493 茨城県潮来市辻 626
TEL 0299-63-1111(代)
FAX 0299-62-4222
E-mail: toshikei@city.itako.lg.jp
URL: https://www.city.itako.lg.jp



市公式HP

この名称は再生紙を使用しています



潮来市

建設部 都市建設課
都市計画グループ
係長

石 山 洵

〒311-2493 茨城県潮来市辻 626
TEL 0299-63-1111(代)
FAX 0299-62-4222
E-mail: toshikei@city.itako.lg.jp



市公式HP



ふるさと納税

この名称は再生紙を使用しています



国土交通省

大臣官房参事官

(宅地・盛土防災担当)

吉田 信博

YOSHIDA Nobuhiro

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2-1-3

Tel: 03-5253-8111 (内線 32-401)

: 03-5253-8401 (直通)

Fax: 03-5253-1587

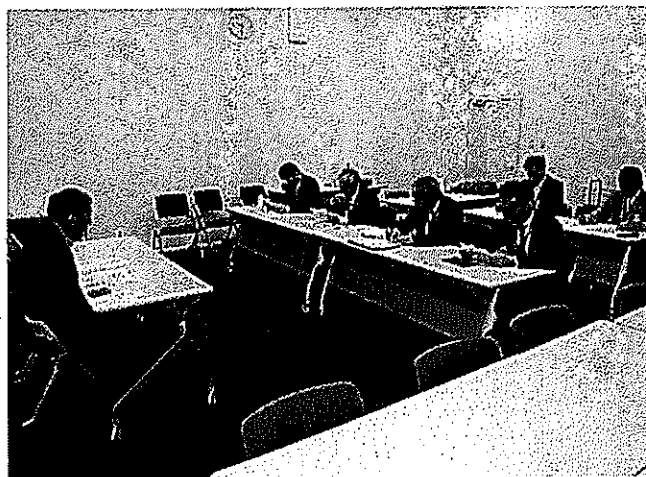
E-mail: yoshida-n22e@mlit.go.jp



国土防災
イメージキャラクター
モリオくん



潮来市役所：液状化対策について先進事例を学ぶ



参議院議員会館101会議室：液状化対策について先進事例を学ぶ

富山市議会 自由民主党 視察行程表

日程 令和 6 年 5 月 7 日(火) ～ 8 日(水)

5月7日 (火)	JR新幹線かがやき502号 徒歩 5分 高速バス・関東鉄道バス 「鹿島神宮」行きか「鹿島セントラルホテル」行き タクシー 10分			
	富山駅	東京駅	東京駅前 (八重洲南口1番 乗り場)	水郷潮来バスターミ ナル
	7:22 発	9:32 着	10:00 発	11:20 着
5月8日 (水)	視察 タクシー 10分 JR新幹線はくたか565号			
	潮来市役所	水郷潮来バス ターミナル	東京駅前	ホテル
	13:30 着	15:30 発	15:55 発	17:35 着
	17:50 着			
	【視察項目】 液状化対策について 【宿泊ホテル】 京王プレッソイン大手町			
	視察 参議院会館 (地下101会議室) 9:30 ～ 11:00 13:24 発 15:54 着 【視察項目】 液状化対策について 講師:大臣官房参事官(宅地・盛土担当) 吉田 信博			
	ホテル	東京駅	富山駅	

日の出地区の被災状況

道路・水道・下水道被害

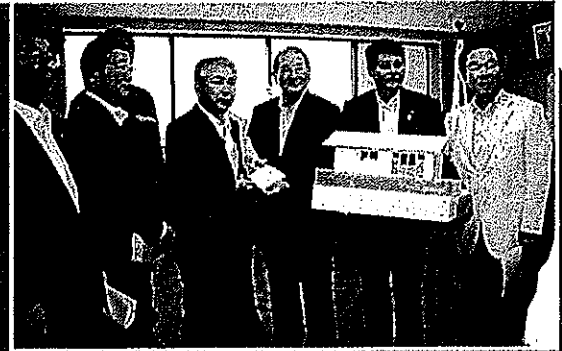
単位:km

区分	延長	被災延長	被災率
道路	46.0	37.0	80.4%
水道	51.0	24.5	48.0%
下水道	36.0	27.6	76.7%

住宅被害総数 2,422棟

※全て液状化による被害(平成24年4月時点)

5



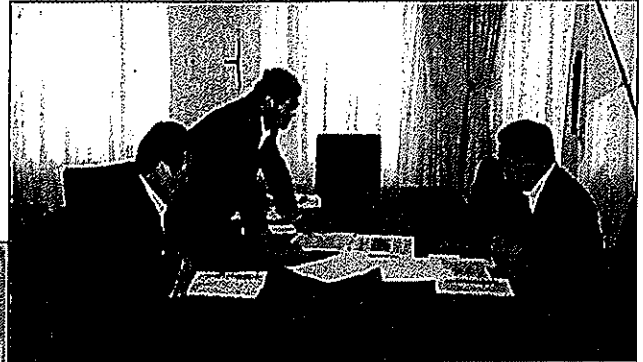
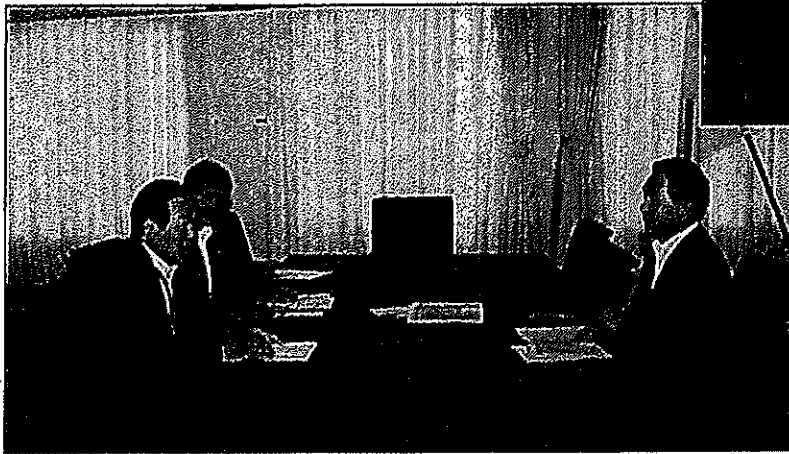
震災後、国へ、液状化被害への
支援の要望を重ねる！



6

道路事業要望

H24/9/28 額賀福志郎代議士と共に平野復興大臣に
「道路事業」（電線地中化含む）を要望！



10/17
第4回復興交付金
事業計画提出

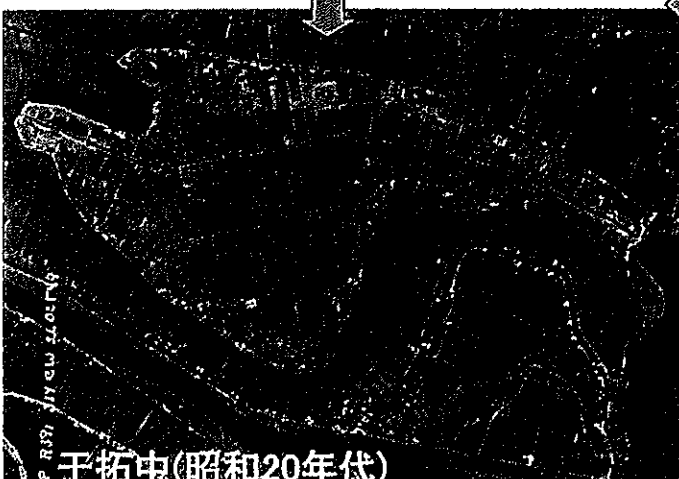
17

日の出地区の土地造成履歴

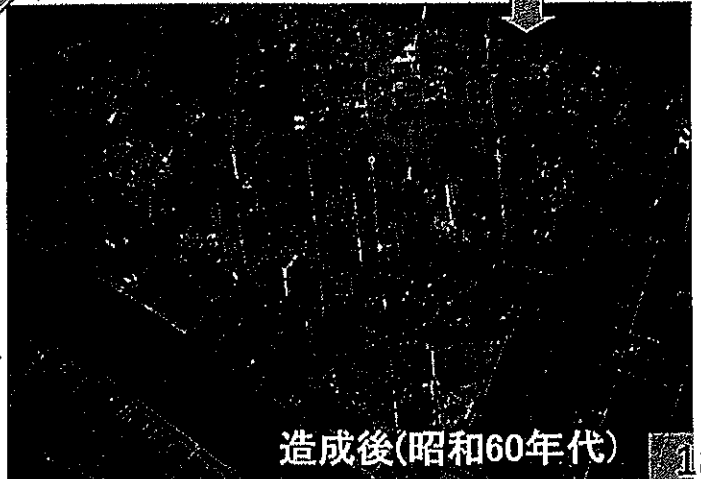
迅速地図(明治初期～中期)



宅地造成中(昭和40年代後半)



干拓中(昭和20年代)



造成後(昭和60年代)

18

潮来市液状化対策検討委員会 H24.2.16設置

委員長	楡井 久	茨城大学名誉教授
副委員長	國生剛治	中央大学理工学部都市環境学科教授
委員	ト部厚志	新潟大学災害・復興科学研究所准教授
"	風岡 修	千葉県環境研究センター主席研究員
"	庄司 学	筑波大学システム情報系准教授
"	先名重樹	防災科学技術研究所研究員
"	水野清秀	産業技術総合研究所グループ長
"	箕輪秀男	NPOリアルタイム地震情報利用協議会
"	阪本和久	潮来市日の出地区代表区長
"	土子志信	潮来市日の出地区副代表区長
オブザーバー	国土交通省、茨城県、東京電力、NTT、日本瓦斯	

19

潮来市液状化対策検討委員会



H24.2.16 第1回 委員会開催

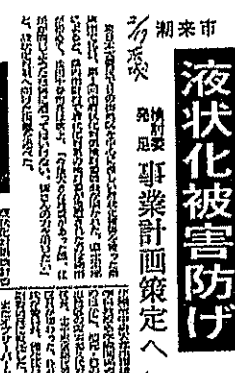
液状化対策事業計画作成のため
第三者の意見を求める機関として
学識経験者等で構成する委員会を設置！

◆委員会構成 地質、地震分野等の専門家及び地元住民の10名
※オブザーバー：国土交通省、茨城県、東京電力、NTT東日本、日本瓦斯

液状化対策の調査方法・工法等を提言



検討委員会の様子



新聞報道の記事

20



日の出地区各集会所での説明会（3月10日～4月21日）



液状化対策事業 同意取得率

对象人数：2316人

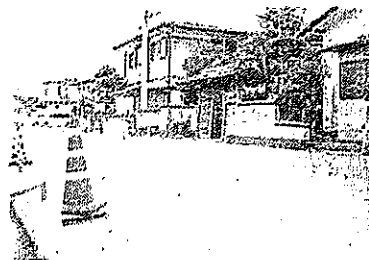
平成25年4月26日
同意取得率

71.4%
(1,654人)



平成25年12月末
(最終)

95.8%
(2218人)



「日本の経済内閣は、いまだに旧弊が根深く、
「お金の力」で物事を動かす風潮が強い」(2011)

[illegible]

H25. 5. 1
読売新聞

液状化 潮来・日の出

震災2年復興にめど

地権者 $\frac{2}{3}$ 以上工事に同意

液状化

山田は、この液状化現象を、地盤の液状化現象と見做し、山田の出現後、再度地盤を動した事の結果として、液状化現象が生じた。山田の出現後、再度地盤を動した事の結果として、液状化現象が生じた。山田の出現後、再度地盤を動した事の結果として、液状化現象が生じた。

[illegible]

狂風の如き狂言の作を「うゑ」の目出づり、同半
 文に於て各地、市に於て、四半の節、或は市、或は
 遊藝に於て、市中を九出
 し、ノリノリ、狂言の如く、けた物、お袖ひ、二、三、
 と、同半文の目出づり、
 狂言の如き狂言の作を「うゑ」の目出づり、同半
 文に於て各地、市に於て、四半の節、或は市、或は
 遊藝に於て、市中を九出
 し、ノリノリ、狂言の如く、けた物、お袖ひ、二、三、
 と、同半文の目出づり、

★地権者等への事業計画説明会
11回開催！

★平成25年4月26日

地権者の3分の2以上の同意取得達成！
復興庁へ液状化対策事業計画の提出！

★全国初となる復興交付金を活用した
液状化対策事業の着手！

★平成27年中に工事完了！

35

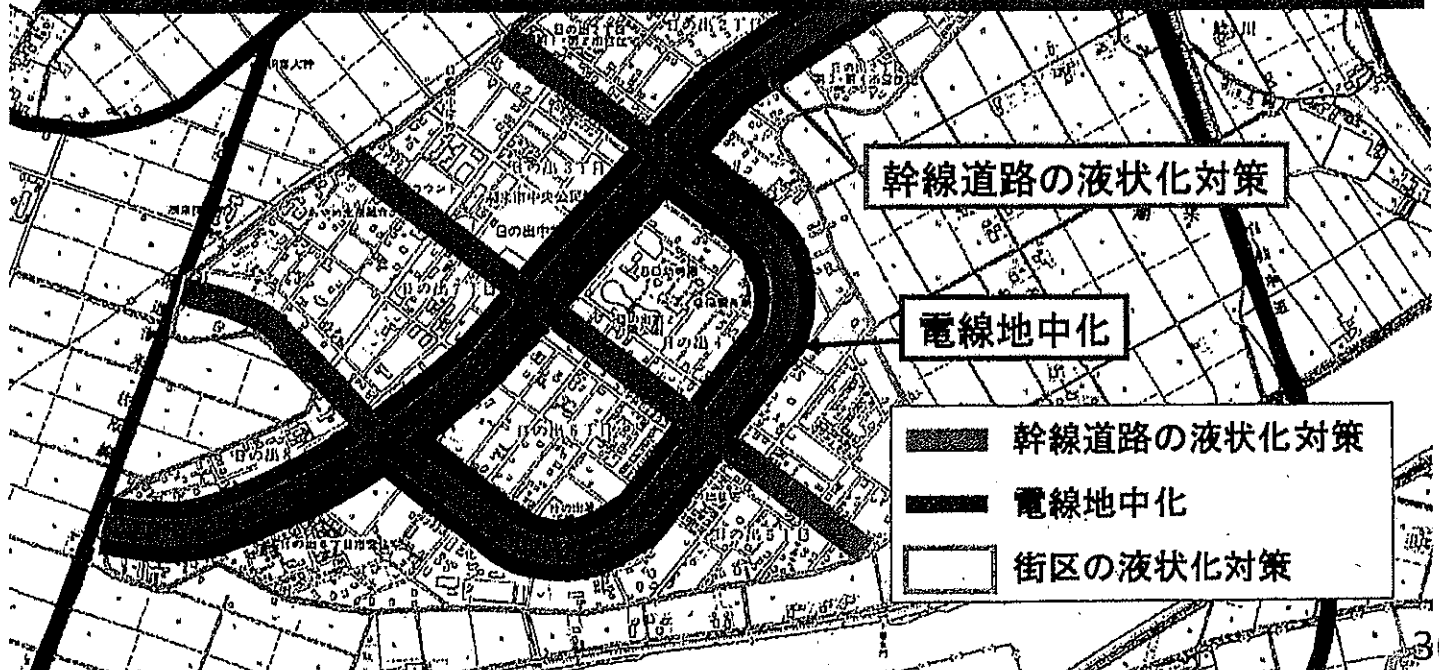
事業概要

事業期間：令和元年度まで

総事業費：約170億円

財 源：全額国の補助（復興交付金、復興特別交付税）

工事内容：地下水排水溝整備、ポンプ場整備、電線類地中化整備等



36

第4節 土地利用方針

将来的な人口減少や高齢化を見据え、日常生活における市民の利便性確保と、本市の魅力を発信できる拠点形成を推進することを目指し、生活空間の集約化と拠点機能の明確化を図る土地利用を基本とします。特に、令和7～8年度に供用開始されることとなった東関東自動車道水戸線の延伸による広域利便性の向上を活かしたまちづくりを推進するため、IC周辺の整備や水辺の活用などを推進することとします。

■土地利用方針－1 4つの市街地を基本とするコンパクトで機能的な土地利用

市街化区域[※]は、住居系市街地となっている潮来・辻、延方、日の出、牛堀市街地と、産業系市街地となっている潮来工業団地を基本とします。なお、住居系市街地では、市街地内の土地利用更新、空き家・空き地対策、駅周辺の賑わい創出、歩いて暮らせるまちづくりの推進等による集約型のまちづくりを目指します。

表－住居系(市街化区域)の位置づけ

市街地	位置づけ
潮来・辻	◎本市の中心的な市街地として行政、生活支援などの機能を誘導します。 ◎潮来駅及び水郷潮来あやめ園周辺、県道水戸神栖線以東の国道51号沿道等については、観光・交流や生活サービス機能の集約化を図ります。
延方	◎延方駅周辺の都市基盤を活用し、鹿嶋市に近接することを活かした居住環境整備などを進めます。
日の出	◎道路や公園、供給処理施設などの都市基盤が整備されていることを活用し、居住環境の整備を進めます。
牛堀	◎常陸利根川に面する市街地であることを活かし、居住機能を中心としながら、既存の公共施設などを活用し、市民交流の場の創出、観光来訪者の誘導、保健・医療サービスを提供する拠点形成を目指します。

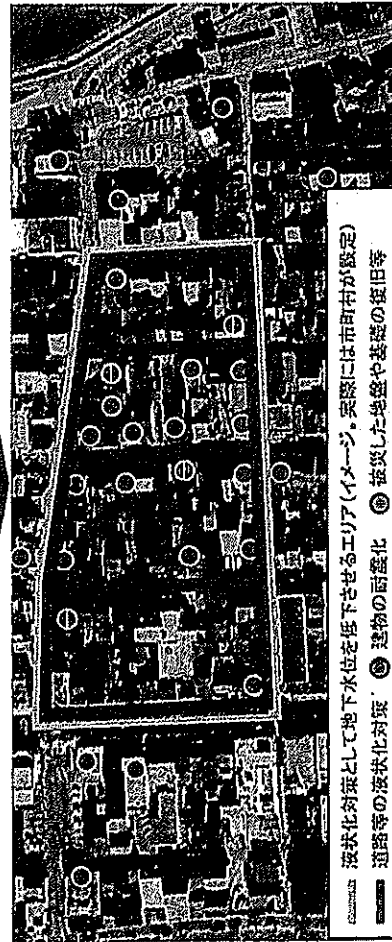
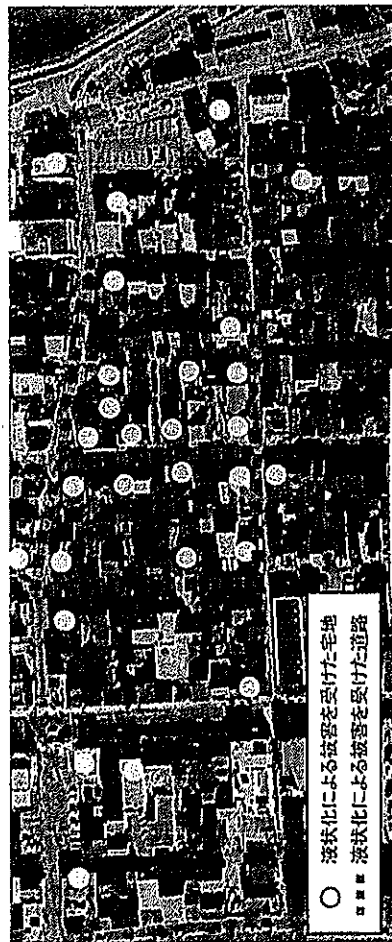
表－産業系(市街化区域)の位置づけ

市街地	位置づけ
潮来工業団地	◎本市の重要な産業基盤として、既存の操業環境の維持に取り組みます。

■土地利用方針－2 地域資源や交通インフラを活用した土地利用

市街化調整区域では、既存の集落・農産環境の保全を図りつつ、既存の開発区域の維持、IC周辺における大規模施設を想定する土地利用、幹線道路沿道における沿道型土地利用の誘導、公共施設や商業施設等の集積の維持、公共施設跡地の利活用、太陽光発電施設の立地の適正化、水辺の観光・レクリエーション利用などを進めることとします。

液状化による被害を受けた建物・宅地の安全性確保を図るためには、面的な液状化対策と建物の耐震化を一体的に行うことが必須。そのため関係する事業が連携して総合的に取り組むことによりエリア一体となって宅地・住宅の安全の確保を推進する。

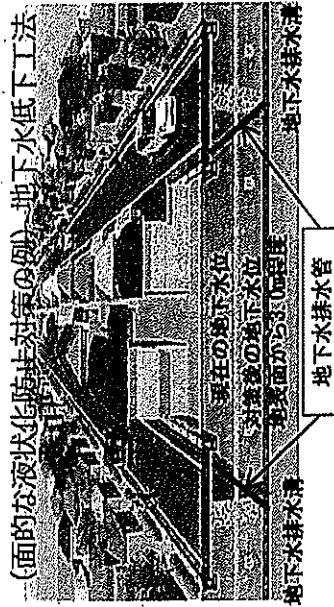


■液状化対策エリア外も含めた支援

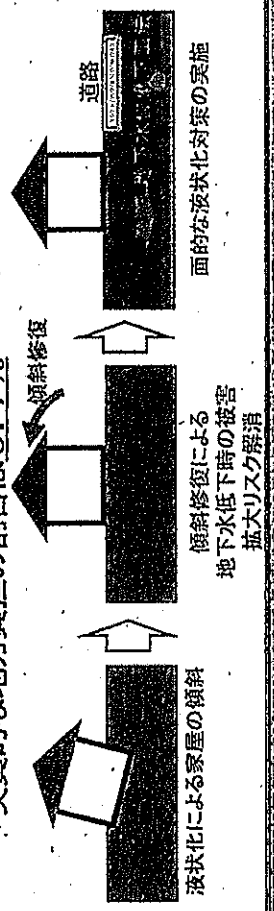
○建物の耐震化への支援【住宅・建築物安全ストック形成事業】
被災者が地方公共団体の支援を受けて行う、住宅の耐震化に対して、国・地方公共団体で1,200万円（多額区域の場合）を限度に支援
→地方負担分は特別交付税措置（措置率0.5）の対象
※補強設計等費及び耐震改修工事費（耐震改修に必要な住宅の傾斜修復を含む）を合算した額
※交付額は、補助対象工事費の8割を限度

■液状化対策エリア内の支援

○面的な液状化防止対策への支援【宅地液状化防止事業】
地方公共団体が行う、道路等の公共施設と宅地の一体的な液状化対策に対して、国が費用の1/2を支援（※通常は1/4）
※地方負担分は、補助災害復旧事業費（充当率100%、交付税措置率95%）の対象
→実質的な地方負担の割合は2.5%



○被災した地盤や基礎の復旧等への支援【効果促進事業】
被災者が地方公共団体の支援を受けて行う、宅地液状化防止事業の実施に支障となる被災した地盤や基礎の復旧等に対して、国・地方公共団体で費用の2/3以内を支援
※地方負担分は特別交付税措置（措置率0.8）の対象
→実質的な地方負担の割合は6.7%



宅地耐震化推進事業の概要（宅地の液状化防止）

○宅地の液状化による変動予測調査

宅地の大地震時等における液状化による変動予測に関する調査費用の一部を補助。

事業主体 地方公共団体
宅地所有者等（間接補助）



地盤調査



液状化しやすいマップ

○宅地液状化防止事業

宅地と一体的に行われる道路等の公共施設の液状化対策事業に要する費用の一部を補助。

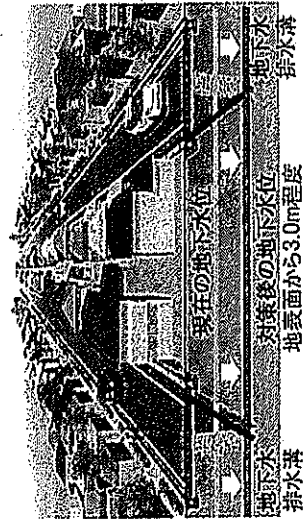
事業要件

- ① 当該宅地の液状化により、公共施設（道路、公園、下水道、河川、水路その他公共の用に供する施設をいう。）に被害が発生するおそれのあるもの
- ② 変動予測調査等により、液状化による顕著な被害の可能性が高いと判定された3,000㎡以上の一団の土地の区域であり、かつ、区域内の家屋が10戸以上であるもの
- ③ 公共施設と宅地との一体的な液状化対策が行われていると認められるもの

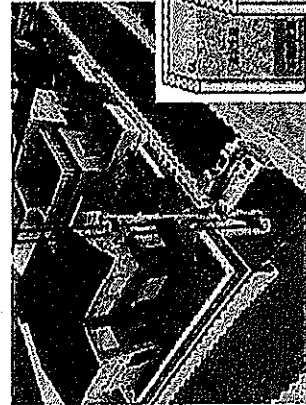
事業主体 地方公共団体、宅地所有者等（間接補助）

交付対象 設計費：液状化防止工事を行うための地盤等調査、設計にかかる費用

工事費：液状化防止工事（地盤改良工、締固工、固結工、変形抑制工、杭内工、排水・止水工、共通仮設工）に要する費用



地下水位低下工法



格子状地中壁工法

国費率 1/2 ※1（令和7年度まで）

国負担 50%

国費率 1/4 ※1

国負担 25%

- 国 国の実質負担分（40%） 地方負担分のうち元利償還金（財源対策分）の50%を交付税措置
- 国 地方の実質負担分（60%）

国費率 1/2 ※1

国負担 50%

- 国 国の実質負担分（60%） 地方負担分のうち元利償還金（財源対策分）の50%を交付税措置
- 国 地方の実質負担分（40%）

国費率 1/2 ※1

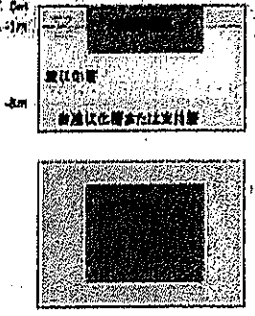
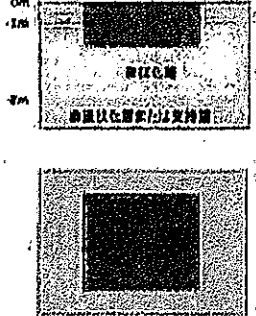
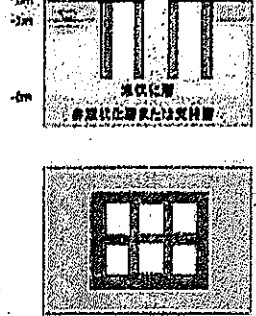
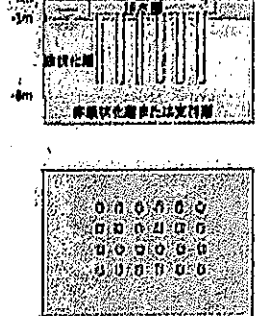
熊本地震、北海道胆振東部地震又は能登半島地震により、被災を受けた宅地の復旧のため、地方公共団体が事業主体として行うもの

国負担 50%

- 国 国の実質負担分（97.5%） 地方負担分のうち元利償還金の95%を交付税措置
- 国 地方の実質負担分（2.5%）

※1 予算の範囲内での支援 ※2 適償性のあるものに限る

参考表 16-3 宅地の再度液状化防止工法（建屋の建替時における個別対策）の例

	建物直下の 層状締め固め工法	建物直下の 層状固化工法	建物直下の 格子状改良工法	建物直下の 水圧消散工法
模 式 図				
概 要	- 建物直下地盤を層状に締め固める方法 - モルタルや流動化砂などポンプ圧送が可能な材料を使用し、これらを圧入することで周辺地盤を圧縮し密度増大を図る - 改良部分の剛性や地盤密度の増加により、建物のめり込み沈下を軽減 - 施工機械の小型化による施工能率低下およびコストの増大	- 建物直下地盤を層状に固化する対策方法 - 固化材と地盤を攪拌混合して地盤の固結を図る（セメント混合処理が主体） - 地盤が固化することで液状化を抑制し、剛性により建物のめり込み沈下を軽減する	- 地盤をセメント改良体等で格子状に囲み、地震時の地盤のせん断変形と液状化の発生を抑制する方法 - セメント改良体は機械攪拌工法や高圧噴射攪拌工法で構築 - 円柱状の改良体をラップさせて格子状にする方法、壁状の改良体を連続で打設して格子状にする方法などがある - 壁厚によっては、建屋の支持力を確保することも可能	- 地盤中に高透水性のドレーンを鉛直に打設し、地震時の過剰間隙水圧の発生を抑制する工法 - 砕石などの自然材料による方法と人工材料による方法がある。
留 意 点	- 改良深さや幅の設定方法、改良部分の剛性の評価などの検討が必要 - 層状改良の下方の液状化層の影響に留意が必要 - 密度増大に伴う周辺地盤への変位影響に留意が必要	- 改良深さや幅の設定方法、改良部分の剛性の評価などの検討が必要 - 層状改良の下方の液状化層の影響に留意が必要 - セメント系固化工法は六価クロム溶出確認が必要 - 植生への配慮して覆土や地下水水位より浅い部分の未改良などの対処が必要	- 改良深さや改良範囲の設定方法、格子間隔や壁剛性の評価、壁の一体性などの検討が必要 - 下方地盤の液状化する場合、過剰間隙水圧の伝播の影響の懸念がある。	- 表層部には排水層の設置が必要 - 改良深さ、改良範囲、ドレーン打設間隔などの検討が必要 - 透水性の低い地盤では対策効果の評価に注意が必要 - 目詰まりしにくいドレーン材の選定 - 想定以上の地震動に対する対策効果の確認 - 砕石を十分に締め固めることによる支持力の確保の可能性
工 法	静的締め固め工法 圧入締め固め工法 締め固め用の既製杭工法	浅層混合処理工法 中層混合処理工法 高圧噴射攪拌工法	格子状地盤改良工法 （機械攪拌工法、高圧噴射攪拌工法） 人工セル状構造打設工法	グラベルドレーン工法 人工材ドレーン工法

※造成宅地の耐震対策に関する研究委員会報告書、液状化から戸建て住宅を守るための手

引書、平成 25 年 3 月、表 8.2.1 加筆修正

参考表 16-4 宅地の再度液状化防止工法（建屋既設条件での個別対策）の例

	建物直下の 層状締め固め工法	建物直下の 層状固化工法	建物周囲の 格子状改良工法	地下水位低下工法
模式図				
概要	- 建物直下地盤を層状に締め固める方法 - モルタルや流動化砂などポンプ圧送が可能な材料を使用し、これらを圧入することで周辺地盤を圧縮し密度増大を図る - 改良部分の剛性や地盤の密度の増加により、建物のめり込み沈下を軽減する - 小型機械使用により、建物内部からの施工、斜め施工も可能である	- 建物直下地盤を層状に固化する工法 - 固化材と地盤を攪拌混合して地盤の固結を図る（セメント混合処理が主体） - 地盤を固化して液状化を抑制し、剛性により建物のめり込み沈下を軽減する - 浸透注入は、建物内部や屋外から鉛直施工と斜め施工が可能 - 高圧噴射攪拌は、建物内部、建物周囲からの鉛直施工が可能	- 地盤をセメント改良体等で格子状に囲み、地震時の地盤のせん断変形と液状化の発生を抑制する方法 - セメント改良体は機械攪拌工法や高圧噴射攪拌工法で構築 - 円柱状の改良体をラップさせて格子状にする方法、壁状の改良体を連続で打設して格子状にする方法などがある	- 地下水位を強制的に低下させることにより、表層の不飽和層（非液状化層）を厚くし、地下水位以深の層についても拘束圧を増加させて液状化の発生を抑制する対策方法 - 建物下の不飽和層を厚くすることで、建物のめり込み沈下を軽減する
留意点	- 改良深さ、改良範囲の設定方法、改良部分の剛性の評価などの検討が必要 - 層状改良の下方の液状化層の影響に留意必要 - 密度増大に伴う周辺地盤および上部建物への変位影響に留意が必要	- 改良深さや幅の設定方法、改良部分の剛性の評価などの検討が必要 - 層状改良の下方の液状化層の影響に留意必要 - 表層付近の浸透注入による改良では、上部建物への影響や口元からのリーク（材料の逸走）に留意が必要 - 長期的な耐久性のある浸透注入材料の選定が必要 - 薬液による土壌汚染への留意が必要 - セメント系固化工法は六価クロム溶出確認が必要 - 排泥処理の方法や費用に留意が必要 - 改良体が固化するまでの施工本数や施工順序に留意が必要	- 改良深さや改良範囲の設定方法、格子間隔や壁剛性の評価、壁の一体性などの検討が必要 - 下方地盤の液状化する場合、過剰間隙水圧の伝播の影響が懸念 - セメント系固化工法は六価クロム溶出確認が必要 - ライフラインなどによる壁の不連続箇所が生じる場合がある	- 周囲への影響を防ぐため、矢板等による締め切りが必要 - 地盤の影響を大きく受けるため、事前に詳細な地盤調査を行い、地盤条件を把握した上で計画を立てる必要がある - 下層に軟弱な粘土層がある場合には、圧密沈下により建物やライフラインの不具合を招く恐れがあるので、事前に地下水位低下による地盤沈下の影響度合いを検討する必要がある - 地下水を汲み上げるための維持管理の費用、および汲上げた水の処理方法を検討する必要がある
工法	圧入締め固め工法 静的締め固め砂杭工法	浸透注入工法 （薬液注入工法） 高圧噴射攪拌工法	格子状地盤改良工法 （高圧噴射攪拌工法）	ディープウェル工法 排水溝工法

視察・調査活動 実施計画書 政務活動費 《事前》審査書				整理番号	0604002-1		
				会派名	富山市議会自由民主党		
				議員名	田辺 裕三		
■ 調 査 研 究 費			会 派 承 認 欄				
回	研 究 費	起 案 日	代表者	経理責任者	申請者(議員)		
回	広 報 広 聴 費	R6.6.6					
回	要 請 ・ 陳 情 活 動 費	承 認 日					
回	会 議 費	R 6 . 6 . 6					
回	資 料 作 成 費	特 記 事 項					
回	資 料 購 入 費	成田光雄 0612004	高道秋彦 0611002	高田真里 0610003			
回	人 件 費	舎川智也 0609002	金谷幸則 0607002	松井邦人 0606004			
回	事 務 費	田辺裕三 0604002	高原 譲 0603007	飯山勝彦 0601003			
項 目		内 容				留意点	
1	実施者	飯山勝彦、高原譲、田辺裕三、松井邦人、金谷幸則、舎川智也、高田真里、高道秋彦、成田光雄(以上9名)					
2	実施日程	令和6年7月1日(月)～2日(火)				政務活動のための合理的な経路か。政務活動以外の行程が含まれていないか。宿泊が必要か。	
3	行程	行程表の通り ※別途添付					
4	視察 1	視察・調査先	函館市				目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、事前調査の結果等はどうか。
		視察・調査先 面談予定者	函館市役所(函館市東雲町4番13号 0138-21-3761) 未定				
		視察・調査の 目的、内容	【内容】家庭ごみの有料化事業について 【目的】本市の家庭ごみ有料化導入に向け、先行事例を学び反映させていく				
	視察 2	視察・調査先	函館市				
		視察・調査先 面談予定者	函館市役所(函館市東雲町4番13号 0138-21-3761) 未定				
		視察・調査の 目的、内容	【内容】企業誘致・立地事業について 【目的】企業誘致・立地事業について、先行事例を学び反映させていく				
	視察 3	視察・調査先					
		視察・調査先 面談予定者					
		視察・調査の 目的、内容					
5	実施経費 及び 政務活動費の 支出予定額 (振込手数料含まない)	交通費	76,790円				対象費用及び単価見積が適切か。政務活動費充当方法は適切か。按分率適用の分母は適切か。(混在不明確な部分が対象。明確な部分は当初除外してあるか。)
		日当	3,000円/日×1日=3,000円				
		宿泊費	11,550円				
		その他	手配料330円				
		合計額	91,670円				
		按分率(充当率)	100% ・ 50%				
		支出額(合計額×按分率)	91,670円				
6	取引規定	■抵触なし				取引制限の確認	

御 見 積 書

作成日: 2024 年 5 月 31 日

富山市議会自由民主党 田辺 裕三 様

株式
会社

トマト旅行

〒939-8261 富山市萩原 250-1

TEL 076-428-5110 FAX 076-428-5102

国内旅行業務取扱管理者

担当

行き先: 北海道函館市

実施日: 2024 年 7 月 1 日(月)~7 月 2 日(火)

人員: 1 名様

この度はお見積もり依頼をいただきまして誠にありがとうございます。下記の通りお見積もり申し上げますので、ご検討のうえご用命賜りますようお願い申し上げます。

合計金額 : ¥88,670-			おひとり様 88,670 円	
項目名	人員・数	単価	金額	備考
ホテル宿泊費	1	11,550	11,550	1 泊朝食つき・税込
航空券	1	38,770	38,770	富山→羽田→函館・片道
	1	37,020	37,020	函館→羽田→富山・片道
空港シャトルバス	1	1,000	1,000	函館空港～函館駅・往復
手配料	1	330	330	
		合計金額	88,670	

○ ご宿泊は ルートイングランティア函館駅前・禁煙シングルルームご利用となります。

(函館市役所まで徒歩 10 分。JR 函館駅より徒歩 1 分)

☆ 航空券は「便変更ができない」スーパーバリュー運賃 です。

○ 空港連絡シャトルバスは現地にてお支払いとなります。

富山市議会自由民主党 視察行程表

日程 令和 6 年 7 月 1 日(月) ~ 2 日(火)

7月1日 (月)	富山空港 ANA316便 羽田空港 ANA4759便 函館空港 シャトルバス 20分 函館駅 徒歩 宿泊施設									
	11:45 発 12:50 着 14:40 発 16:00 着 未定 発 未定 着									
7月2日 (火)	宿泊施設 徒歩 函館市役所 徒歩 15分 函館駅 シャトルバス 20分 函館空港 ANA4760便 ① 10:00 ~ 12:00 ② 13:30 ~ 14:30 未定 発 未定 着 16:45 発									
	羽田空港 ANA321便 富山空港									
	18:10 着 19:40 発 20:40 着									
	【視察項目】 ①家庭ごみ処理の有料化事業について ②企業誘致・立地事業について									

備考

【函館市役所】

〒040-8666 函館市東雲町4番13号

TEL:0138-21-3761

担当:三尾(みお)様

・当日、本庁舎正面玄関にて待ち合わせ(視察会場:7階委員会室)

視察・調査活動 実績報告書 政務活動費【事後】審査書 兼 支出伝票				整理番号	0604002-2	
				会派名	富山市議会自由民主党	
				議員名	田辺 裕三	
■	調 査 研 究 費	起 案 日		会 派 承 認 欄		
□	研 修 費	R6.7.3		代表者	経理責任者	申請者(議員)
□	広 報 広 聴 費	承 認 日				
□	要 請 ・ 陳 情 活 動 費	R 6. 7. 19				
□	会 議 費	支払件数	/	支払日(口座振込完了日)	R 6. 7. 22	
□	資 料 作 成 費	起 案 日		支 払 完 了 報 告		
□	資 料 購 入 費	R 6. 7. 22		代表者	経理責任者	申請者(議員)
□	人 件 費	承 認 日				
□	事 務 費	R 6. 7. 31				
特 記 事 項						
成田光雄0612004 高道秋彦0611002 高田真里0610003 舎川智也0609002 金谷幸則0607002 松井邦人0606004 田辺裕三0604002 高原 譲0603007 飯山勝彦0601003 (飯山議員は当日欠席)						
項 目		内 容				留意点
1	実施者	成田光雄 高道秋彦 高田真里 舎川智也 金谷幸則 松井邦人 田辺裕三 高原 譲 (以上8名)				
2	実施日程	令和6年7月1日(月)～2日(火)				政務活動のための合理的な経路か。 政務活動以外の行程が含まれていないか。 宿泊が必要か。
3	行程	行程表のとおり※別途添付				
4	視察 1	視察・調査先	函館市			目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、事前調査の結果等はどうか。
		視察・調査先 面談予定者	函館市環境部環境推進課長 畠山裕二 環境総務課主査 砂金和之 環境推進課廃棄物処理計画担当主査 高橋一也			
		視察・調査の 目的、内容	【内容】家庭ごみの有料化事業について 【目的】本市の家庭ごみ有料化導入に向け、先行事例を学び反映させていく			
	視察 2	視察・調査先	函館市			
視察・調査先 面談予定者		函館市経済部企業立地担当 課長 竹崎 太人 経済部工業振興課企業立地担当 主任主事 山中 皓太				
視察・調査の 目的、内容		【内容】企業誘致・立地事業について 【目的】企業誘致・立地事業について、先行事例を学び反映させていく				

項目	内容	留意点
視察・調査活動の内容	【視察①】函館市における家庭ゴミの有料化は平成14年4月から取り組んでいる内容で20年以上経過し市民に浸透しているように思えます。当時全国的に問題となっていたダイオキシン対策や逼迫していた最終処分場の整備にかかる財政負担が重くのしかかっていた状況だった為のようです。平成12年から改修が始まった日之出清掃工場の整備に130億円の費用がかかることから市民に一部を負担いただく方向性で実施することとなった。目的は①ごみの減量化・資源化の促進②費用負担の公平性③ごみ適正処理費用の確保だが、いろいろ反発もあったようです。2円/10負担で回収袋は50,100,200,300,400,の5種類があるそう。また公共の公園や道路の除草・清掃活動の場合のごみはボランティア袋が用意されていると言う。不法投棄も懸念される所だがほとんど無い様だ。 【視察②】観光地としてのイメージが強い函館市だがビジネスの拠点として立地環境における6つの魅力をアピールして発信に務めているそうだ。①安心・安全なビジネス環境があるまち②人材が豊かなまち③教育が強いまち④産学官連携が盛んなまち⑤支援制度が充実しているまち⑥暮らしの魅力が溢れるまちなど 東京から飛行機で1時間20分の交通インフラや、降雪が少なく、温泉が身近にある、海産物が豊かで美味しいのが魅力に感じる。山・河が少ない為、清らかな水に乏しいのが欠点のように感じた。	目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、会派内での報告・情報共有等の対応等。
5 市政への影響、反映、成果等	【視察①】家庭ごみ有料化には反対意見も多くあると思われるため、目的をはっきりさせ実施までの合意形成には十分な時間をかけ 意見聴取・意見交換会・住民説明会などをこまめに開催し周知・理解を十分に得ることが重要に思う。また細かいルールづくりが必要に思う。ボランティア袋にポイントをつけるなどし道路や公園など公共の部分の清掃活動に積極的に関わって頂けるようにしたらどうだろうかと思う。 【視察②】北陸新幹線による富山の交通インフラの優位性、広大な土地と安さ、水が清らかで豊富な面、豊富な人材、勤勉な県民性・山・河・海の食の豊かさなどの強みをアピールして首都圏からの企業誘致に取り組んでいきたい。またメディアをうまく活用した戦略を立てて予算もかけるべきではと思います。	政務活動のみの内容か。政務活動以外の政党活動、選挙活動、後援会活動等とみなされる表現、構成になっていないか。
その他及び政務活動以外で取り扱った内容	なし	政務活動費を支出できる内容か。(全額、1/2、支出不可)

項 目		内 容			留意点	
実施経費 及び 政務活動費支出額	旅 費	支出金額	87,340円	支出方法	☐ 債権者口座 ☒ 議員口座 (立替)	対象費用及び単価見積が適切か。 按分率適用の分母は適切か。 政務活動費充当方法は適切か。 (混在不明確な部分が対象。明確な部分は当初除外してあるか。)
		支出先	田辺 議員立替え 立替え先(株)トマト旅行			
		支出内容及び積算根拠	富山→羽田→函館航空券38,770円 函館→羽田→富山航空券37,020円 ホテル宿泊費11,550円			
	手 配 料	支出金額	330円	支出方法	☐ 債権者口座 ☒ 議員口座 (立替)	
		支出先	田辺 議員立替え 立替え先(株)トマト旅行			
		支出内容及び積算根拠	手配料			
	交 通 費	支出金額	1,000円	支出方法	☐ 債権者口座 ☒ 議員口座 (立替)	
		支出先	田辺 議員立替え 立替え先 函館帝産バス			
		支出内容及び積算根拠	函館空港→函館駅(500円) 函館駅→函館空港(500円)			
	日 当	支出金額	3,000円	支出方法	☐ 債権者口座 ☒ 議員口座 (立替)	
		支出先	田辺 議員立替え			
		支出内容及び積算根拠	7月2日日当3,000円			
		支出金額		支出方法	☐ 債権者口座 ☐ 議員口座 (立替)	
		支出先				
		支出内容及び積算根拠				
取引規定		■抵触なし				
経費総額		91,670円	按分率 (充当率)	100%・50%		
按分率適用対象経費 及び 按分理由						
政務活動費 支出(充当)額		91,670円				

○恐れ入りますが、振り込み手数料はお客様のご負担でお願いいたします。

貼付用紙

領収証

富山県議会自由民主党

田辺 裕三

様

金額

¥ 87,670,-

消費税区分

No. 10%対象合計(税込)

¥ 87,670,-

8%対象合計(税込)

¥

対象外

¥

但 航空券, 宿泊代

6年 6月 18日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

株式会社

トマール旅行

〒939-8261 富山県秋田250番地1

TEL (076) 428-5110

FAX (076) 428-5102

登録番号T6230001003642

コクヨ ユケ-50



支 払 証 明 書

会派名

富山市議会自由民主党

議員名

田辺 裕三

経費項目	☒ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 広報広聴費	☐ 要請・陳情活動費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費	☐ 資料購入費 ☐ 人件費 ☐ 事務費
支払金額	1,000円		
支払内容・内訳	函館市役所視察における市内移動交通費 函館空港バス停～函館駅バス停 500円 函館駅バス停～函館空港バス停 500円		
支払年月日	令和6年7月1日 7月2日		
支払先	函館帝産バス		

上記金額を、政務活動費として支払ったことを証明する。

令和 6 年 7 月 3 日

会派名

富山市議会自由民主党

経理責任者氏名

豊岡 達郎



運賃表 Bus fare table

JR函館駅方面
JR Hakodate Station direction

函館空港
Hakodate Airport

JR函館駅前方面ゆき To JR Hakodate Station direction			
函館空港 出発 Depart Hakodate Airport	湯の川温泉 Yunakawa onsen (near Hoesakan SosaTei)	競輪場前 Keirinjo	JR函館駅前 JR Hakodate Station
	¥230	¥300	¥500
JR函館駅前 以降 運行限定便			
陸道通り入口 Koko Street - Higuchi	函館国庫ホテル前 Hakodate Kokusai Hotel	ベイエリア前 Bay Area	五稜郭 Hirakicho
¥500			

函館空港ゆき To Hakodate Airport			
JR函館駅前 JR Hakodate Station	大森町 Oomori-cho	競輪場前 Keirinjo	湯の川温泉 Yunakawa onsen (near Hoesakan SosaTei)
¥500	¥400	¥300	¥230
JR函館駅前 以前 運行限定便			
五稜郭 Hirakicho	ベイエリア前 Bay Area	函館国庫ホテル前 Hakodate Kokusai Hotel	陸道通り入口 Koko Street - Higuchi
¥500			
			函館空港 到着 Arrival at Hakodate Airport

JR新函館北斗駅
JR Shin-Hakodate-Hokuto Station

⇐

函館空港

Hakodate Airport

JR新函館北斗駅ゆき To JR Shin-Hakodate-Hokuto Station			
函館空港 出発 Depart Hakodate Airport	JR新函館北斗駅 (直行便) JR Shin-Hakodate-Hokuto Station	新函館北斗 駅出発 Depart JR Shin- Hakodate-Hokuto Station	函館空港 (直行便) Hakodate Airport
	¥1,000		¥1,000

※小人(小学生まで)半額(10円未満切り上げ)

Child's fare (Up to 12 years old) Half price fare (Rounded less than 10 yen)

函館市営バス

0138-55-1111

HAKODATE TEISAN BUS +81-138-55-1111

0604002

振 替 証 明 書

会派名 富山市議会自由民主党

金 額	91,670	円
-----	--------	---

上記金額を次の者の口座へ振替したことを証明します。

令和6年7月22日

経理責任者 豊岡 達郎



氏 名	田 辺 裕 三	受領印	
-----	---------	-----	--



0604002

6

年月日	摘要	お支払い金額 (円)	お預かり金額 (円)	差し引き残高 (円)
1 06-07-01		*100,540	*クテンサンキヨウ	*3,911,076
2 06-07-02		*3,380	トマシフン	*3,907,696
3 06-07-02		*3,900	トマシフン	*3,903,796
4 06-07-05*		*91,670	普通預金 金谷 譲 振	*3,812,126
5 06-07-05*		*3,380	普通預金 高並 譲 振	*3,808,746
6 06-07-05	振込資金	*54,771	コピー カウント代	*3,753,975
7 06-07-05	振込資金	*2,165	インターネット代	*3,751,810
8 06-07-16	電話料	*3,008	0764316101	*3,748,802
9 06-07-22	振込		トマシキ"カイヨムカ *6,750,000	*10,498,802
10 06-07-22		*39,710	トヨト"ウシステム	*10,459,092
11 06-07-22*		*91,670	普通預金 成岡 謙 振	*10,367,422
12 06-07-22*		*3,380	普通預金 成岡 謙 振	*10,364,042
13 06-07-22*		*91,670	普通預金 高並 謙 振	*10,272,372
14 06-07-22*		*91,670	普通預金 高岡 里 謙 振	*10,180,702
15 06-07-22*		*3,380	普通預金 高岡 里 謙 振	*10,177,322
16 06-07-22*		*91,670	普通預金 金川 謙 振	*10,085,652
17 06-07-22*		*47,220	普通預金 田辺 謙 振	*10,038,432
18 06-07-22*		*91,670	普通預金 田辺 謙 振	*9,946,762
19 06-07-22*		*3,380	普通預金 高岡 謙 振	*9,943,382
20 06-07-22*		*76,120	普通預金 金反山 謙 振	*9,867,262
21 06-07-22*		*23,835	タブレット端末通信料	*9,843,427
22 06-07-22*		*8,998	コピー用紙代	*9,834,429
23				
24				

(45305日)

1. 通帳のご提出のあるお取引のときは年月日順に*と表示します。
2. 振込額を振替け入れのときは、お支払い金額順に*のとお表示します。
※ ケンコー 60-000
トシタデー 60-000

お支払いできる日

お支払できる日曜日は、所定の
不渡日(振込停止日)となります。

普通預金通帳

店番号

富山市議会自由民主党様

北陸銀行

視察① 函館市役所 ごみの有料化について



主査 砂金 和之

Isago Kazuyuki

函館市 環境部 環境総務課

〒040-0034 函館市大森町21番12号
TEL (0138)85-8152 FAX(0138)85-8198
E-mail:isago@city.hakodate.hokkaido.jp



函館市環境部
環境推進課

課長 畠山 裕二

〒040-0034 函館市大森町21番12号
TEL (0138) 85-8231
FAX (0138) 85-8279
E-mail:kankyoh-suishin@city.hakodate.hokkaido.jp

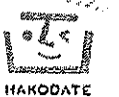
函館市議会事務局



次長 中村 幸信

〒040-8666 北海道函館市東雲町4番13号
TEL(0138) 21-3752 FAX(0138) 27-4185
E-mail: (組織) gikai@city.hakodate.hokkaido.jp
(個人) nakamura.y@city.hakodate.hokkaido.jp

函館市環境部環境推進課
廃棄物処理計画担当



主査 高橋 一也

Takahashi Kazuya

〒040-0034 函館市大森町21番12号
TEL: 0138-85-8236 Fax: 0138-85-8279
E-mail: takahashi.kazuya@city.hakodate.hokkaido.jp

視察② 函館市役所 企業誘致の取り組みについて

世界一夜景の美しい街函館

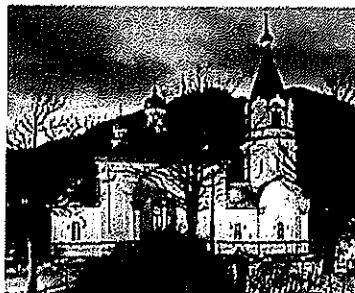


函館市経済部企業立地担当

課長 竹崎 太人
Takezaki Masahito

〒040-8666 函館市東雲町4番13号
TEL (0138) 21-3987
FAX (0138) 27-0460
E-mail: takezaki.m@city.hakodate.hokkaido.jp

夕映えのハリストス正教会

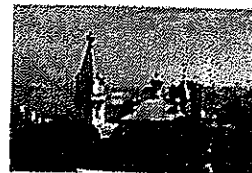


函館市

City of Hakodate
経済部工業振興課
企業立地担当

主任主事 山中 皓太

〒040-8666 函館市東雲町4番13号
TEL(0138) 21-3307 FAX(0138) 27-0460
E-mail: yamannaka.kouta@city.hakodate.hokkaido.jp



函館ハリストス正教会

函館市議会事務局議事調査課

会計年度任用職員

み お しん こ
三 尾 慎 吾

〒040-8666
北海道函館市東雲町4番13号
Tel: 0138-21-3761
Fax: 0138-27-4185
Mail: mio@city.hakodate.hokkaido.jp

令和6年7月2日函館市行政視察写真



議場にて



視察①ごみの有料化



視察②企業誘致について

富山市議会自由民主党 視察行程表

日程 令和 6 年 7 月 1 日(月) ~ 2 日(火)

7月1日 (月)	富山空港	ANA316便	羽田空港	ANA4759便	函館空港	シャトルバス 20分	函館駅	徒歩
	11:45 発		12:50 着	14:40 発	16:00 着	未定 発	未定 着	
	宿泊施設							

7月2日 (火)	宿泊施設	徒歩	視察	徒歩 15分	函館駅	シャトルバス 20分	函館空港	ANA4760便
			① 10:00 ~ 12:00 ② 13:30 ~ 14:30		未定 発	未定 着	16:45 着	
	羽田空港	ANA321便	富山空港					
	18:10 着		19:40 発	20:40 着				
	【視察項目】 ①家庭ごみ処理の有料化事業について ②企業誘致・立地事業について							

備考

【函館市役所】

〒040-8666 函館市東雲町4番13号

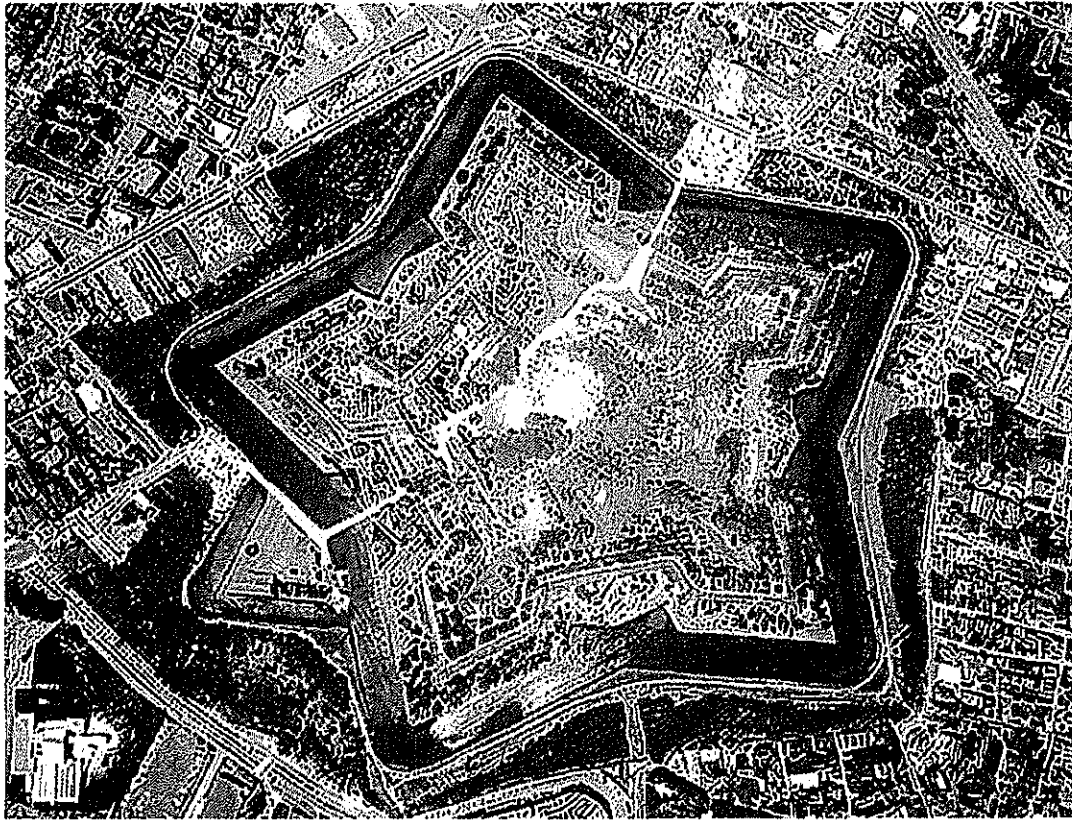
TEL:0138-21-3761

担当:三尾(みお)様

・当日、本庁舎正面玄関にて待ち合わせ(視察会場:7階委員会室)

函 館 市 の 概 況

(令和6年度)



2024.7.1 ~ 7.2.

① 家庭ごみの有料化事業について、

函館市議会事務局

《 沿革 》

函館市は北海道の南西部渡島半島の南端に位置し、安政6年(1859年)、横浜・長崎とともに日本最初の国際貿易港として開かれて以来、早くから海外との交流が始まり、近代日本の幕開けの中でいち早く外国文化に触れ、市民の中にも新進的な国際感覚が息づく、長い歴史と文化を有する街である。

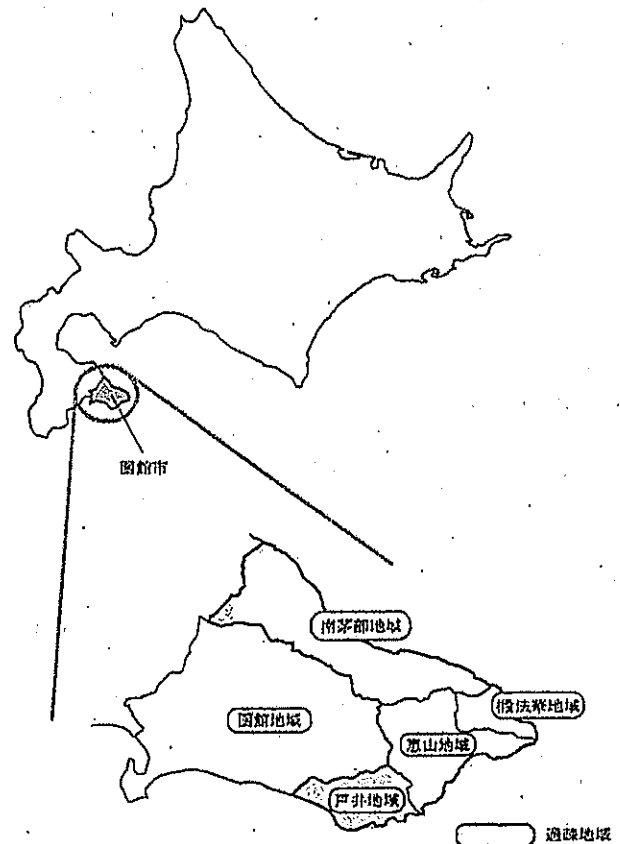
明治32年(1899年)に自治制の函館区となり、大正11年(1922年)に市制施行、昭和5年(1930年)には人口197,252人を擁し、また、北洋漁業の基地および交通の要衝として漁業・貿易の黄金期を迎え、東京以北最大の都市として栄華を誇っていた。

戦後の一時の衰退を経て、北洋漁業に関連した造船・水産加工業が大いに活況を呈し、昭和50年(1975年)のいわゆる二百海里水域制限により大きな打撃を受けたものの、今なお南北海道における行政・経済・文化の中心地として、発展を続けている。

平成12年に特例市の指定を受けたほか、平成の大合併北海道第1号として、平成16年12月1日に戸井町、恵山町、樫法華村、南茅部町と合併し「海」を生かした街づくりを基本理念とし、「国際水産・海洋都市」の形成を図っていくとともに、特色ある観光資源を生かし「国際観光都市」としてのさらなる発展を目指している。

平成17年10月1日には「中核市」に移行し、多くの事務権限が移譲され、今まで以上に市民に身近なサービスの提供や、地域特性を生かした施策が可能になり、「ふれあいとやさしさに包まれた世界都市」の実現に向けた取り組みを行っている。

また、平成17年5月に着工された北海道新幹線が平成28年3月26日に新函館北斗駅まで開業となったほか、令和4年8月には函館駅に隣接した函館クルーズターミナルが完成し、函館空港や北海道縦貫自動車道などを含めた総合交通体系の充実が図られている。



函館市における家庭ごみ処理の有料化実施について

1 実施年月日

平成14年4月1日

2 導入に至った経緯

当時、全国的に問題になっていたダイオキシン対策や逼迫していた最終処分場の整備にかかる財政負担が各市町村に重くのしかかる状況にあった。当市も平成11年度から工事が始まった七五郎沢廃棄物最終処分場や、平成12年度から改修が始まった日乃出清掃工場の整備に合計約130億円の費用が必要とされており、この一部を市民の皆様にご負担いただき、市民が安心して暮らせるための生活環境基盤を整備しようとしたもの。

3 導入効果（函館市廃棄物減量等推進審議会の最終答申における有料化の効果）

- ・ ごみの減量化・資源化の推進
- ・ 費用負担の適正化・公平化
- ・ ごみの適正処理に要する費用の確保

4 導入経過

別紙1のとおり

※ 当初、平成12年2月定例会で関係条例の改正を行い、平成12年10月1日からの実施を予定していたが、有料化のほかにもプラスチック容器の分別収集に係る市民および議会からの意見聴取に、より一定の期間を要すると判断し、条例提案を平成13年2月定例会に先送りし、実施時期も平成14年4月1日とした。

5 関係委員会等への対応

(1) 函館市廃棄物減量等審議会（以下「減量等審議会」という）

- ・ H11.11.4 諮問 H11.12.20 中間答申 H12.1.21 最終答申
- ・ 審議会開催7回（H11.11/10, 12/2, 12/8, 12/17 H12.1/11, 1/19, 2/18）
- ・ 有料化導入済みの自治体（伊達市、室蘭市）視察（H11.11.23～24）

(2) 函館市民生常任委員会

- ・ 減量等審議会への諮問、中間答申、最終答申後にそれぞれ資料提出
- ・ H12.2月以降、有料化に係る委員会意見聴取、条例原案説明等のため随時開催（参考）別紙2のとおり

令和6年7月2日富山市議会視察資料

家庭ごみ減量化の現状について

1 原単位の分析

- 1世帯あたりの人数が少ないこと (1.72人/世帯, 令和6年5月末現在)
参考: 道内人口上位13市中12位(平均1.82人/世帯), 富山市2.17人/世帯
家庭ごみは世帯ベースで排出するものであり, 1人世帯に比べて2人世帯の排出量が単純に2倍になるものではないことから, 当市の1世帯あたりの人数が少ないという世帯構成が影響していると考えている。
- 近年は, 以前に比べて終活, 断捨離および遺品整理などが活発に行われていることも原単位が減少しない要因であると考えている。
- 令和2, 3年度は, コロナ禍により家庭で過ごす時間が長くなった影響に伴い原単位は増加したが, 令和4年度以降は減少傾向に転じている。

2 リサイクル率について

- 新聞雑誌等がインターネットの普及に伴う発行部数の減少により, 集団資源回収における古紙の回収量が減少していること, また, スーパーなど民間事業者独自による資源物回収の再資源化量が統計に含まれていない等のことから, 1.5%前後での推移に留まっていると考えている。
- また, 当市は, 貴市のような古紙の行政回収を行っていないことや, 行政による資源物ステーションを実施していないことも影響していると考えている。
- リサイクル率を上げるため, 行政回収による資源ごみの回収品目を増やしたいとも考えるが, 当市は, 戸別収集方式を採用しており, ステーション方式に比べて, 収集効率や経費面から難しいところである。
- 可燃・不燃ごみに混入している資源化可能な紙類を含む資源ごみの分別徹底が課題である。

3 主な減量化施策について

○家庭ごみの有料化

○資源ごみの分別収集

- ・「缶・びん・ペットボトル」, 「プラスチック容器包装」

○プラスチックごみ対策

- ・環境学習 (ビーチコーミング) 実施
- ・プラスチックごみ削減キャンペーン

物産 1/18/2024

17歳77万
30歳21歳後
95歳37万

6 有料化に伴う課題と対応

(1) 不法投棄対策

- ・ 監視・指導や速やかな処理体制の強化
- ・ 啓蒙啓発活動や環境教育の徹底
- ・ 道路管理者や公園管理者など各関係機関に管理強化を要請
- ・ 特に悪質な場合における警察との連携

(2) 有料化にむけた市民との合意形成

- ・ パンフレット・Q & Aの作成と全戸への配布（試行用要指定袋交換券配布時）
- ・ 大型ポスターの作成と掲示（市施設・町会・その他公共施設）
- ・ 意見聴取，意見交換会および町会等自治会単位での説明会の開催

平成 11 年 12 月～平成 12 年 1 月 市民意見聴取（参加人数 192 名・5 団体役員等）

平成 12 年 8 月～平成 12 年 11 月 意見交換会（参加人数 2,063 名・33 会場）

平成 13 年 9 月～平成 13 年 11 月 住民説明会（参加人数 11,770 名・166 町会）

- ・ 市政はこだて，環境部ニュース等広報誌への掲載
- ・ テレビ，ラジオの活用

(3) 家庭ごみ処理手数料の設定

市民負担はごみ処理原価に 2 分の 1 を乗じた額を基本とするが，市民負担の軽減を考慮（激変緩和）し更に 2 分の 1 を乗じた額の 2 円/ℓとした。

7 同時施策

(1) 「プラスチック容器包装」の無料分別収集【実施時期：H14. 4～】

従来，不燃ごみに区分していたごみのうち，容器包装リサイクル法に規定するプラスチック類を，新たに資源ごみとして無料収集とした。無料とすることで，有料ごみとのインセンティブを働かせ分別意識を高め，減量努力をする市民とそうでない市民との費用負担の公平性を図るとともに，更なる資源化・減量化の推進を図ることとした。

(2) 電動生ごみ処理機購入費補助制度【実施時期：H14. 4～H25. 3】

減量化推進策として，購入費の半額を補助（上限 30,000 円）

(3) ごみ散乱防止ネット・折りたたみ式かごの購入費補助制度【実施時期：H14. 4～H25. 3】

段ボールで排出できなくなることによる散乱防止の代替策として，購入費の半額を補助（上限 3,000 円）

(4) 集団資源回収に係る奨励金（謝礼金）の一部品目単価増額【実施時期：H14. 4. 1】

資源化推進策として，新聞等一部品目について単価を増額（新聞 3 円→4 円など）

H14. 5. 14 172417
15 05117
15. 1777

8 家庭ごみの有料化の試行

目 的：指定ごみ袋の排出や「プラスチック容器包装」の分別に慣れてもらうため

試行期間：平成14年3月1日～31日（1か月間）

配布対象：全戸

配 布 物：燃やせるごみ袋 30ℓ袋×20枚／世帯

燃やせないごみ袋 30ℓ袋×10枚／世帯

分別パンフレット 1冊／世帯（プラスチック容器包装の区分を新設し作成）

そ の 他：

- ・ 期間中の「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」は試行用ごみ袋による排出としたが、従来の透明袋や段ボールでの排出も可とした。
- ・ 期間中の「プラスチック容器包装」は、透明袋を使用のうえ「燃やせないごみ」の収集日での排出とした。
- ・ 期間中に試行用ごみ袋が余った場合、有料化実施後に使用することも可とした。

9 家庭ごみの有料化に伴う対応等

(1) 駆け込み排出に対する対応

- ・ 「燃やせるごみ（週2回収集）」

例月よりも排出量が増加したものの、おおむね定時で収集を完了することが出来た。

- ・ 「燃やせないごみ（約10日に1回収集）」

有料化目前の3月に入ると、排出量が徐々に増え始め、中旬以降は、収集完了時刻が午後9時頃までかかる状況が続いた。

- ・ 「粗大ごみ（申込制で受付後、約2週間以内に収集）」

3月中に受け付けたものを無料としたため、3月中に駆け込みでの申し込みが激増した。収集にあたっては、平日の時間外収集や、土曜日収集など講じたが、無料受け付け分の完了は4月末までかかった。

(2) 実施後の対応

- ・ 指定ごみ袋を使用しないごみに対して、収集職員が収集拒否の警告シールを貼付け、収集しない。（現在も実施）
- ・ 排出指導を担当する職員が一定期間、特に集合住宅を中心に巡回排出指導を行った。

（3 箇月程度）

10 家庭系ごみ有料化にともなう収集量の変化

家庭系ごみ有料化の前後で収集量に明らかな変化があり、ごみの減量化・資源化の推進に影響したことが確認できる。

（参考）別紙3のとおり

11 今後の制度見直しに対する考え方

家庭ごみの処理手数料は、平成 14 年 4 月の有料化以降、10あたり 2 円のまま改定していない。これまでも市議会や民生常任委員会において見直しについての考え方等について問われてきており、見直し時期については、市域の経済情勢や他都市の状況などを総合的に判断し、検討する旨の回答を行ってきている。今後、日乃出清掃工場整備に係る多額の工事費のほか、令和 8 年度から始まる起債償還により多額の支出が見込まれる中、料金の見直しの内容や時期等について準備を進める段階に入っている。

12 その他

(1) 不適切排出や不法投棄に対する町会からの要望等

当時の意見交換会において、不法投棄や散乱対策に対し多くの意見要望が寄せられた。

(参考) 別紙 4 のとおり

(2) 徴収した手数料の用途等

清掃手数料（ごみ処理一般家庭）については、家庭系一般廃棄物の収集委託料に充当されている。残りの歳入については、七五郎沢廃棄物最終処分場の整備、日乃出工場の整備およびプラスチック中間処理施設建設工事費の財源となったものと考えている。

(3) 現在の市民の受け止め

ごみ有料化から既に 20 年以上が経過しており、お金を支払ってごみを処理する事に対する市民の抵抗感はほぼ無く、理解を得られているものと認識している。ここ数年の市民からの苦情や意見をみても、ごみ有料化に係るものは見受けられない。ただ、一部の道外他都市からの転入者からは、家庭ごみの処理手数料の高さを指摘する声も聞かれる。

函館市

立地環境における6つの魅力

Hakodate city's attractions in the situational environment

Hakodate

② 企業誘致
立地事業について

観光地としてのイメージが強い
函館市が持つ
ビジネス拠点としての
魅力と可能性



企業進出のサポートいたします！

1 企業進出に関する手厚い補助制度あります

① 企業立地条例補助金

- ・事業所の新增設、設備投資に要する経費一部を支援します
- ・IT企業やコールセンターの場合は雇用増に対する支援もあります

② 函館市地方拠点開設支援事業補助金（対象：IT企業等）

- ・サテライトオフィス等の開設に要する設備費用等に対し最大100万円

③ 立地環境調査補助金

- ・函館への現地視察旅費のうち1社3名×上限5万円を支援

補助要件など
詳細はこちら

企業立地
補助金



地方拠点開設
支援補助金



立地環境
調査補助金



2 税制優遇制度があります

「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づき、課税初年度から3カ年度分の固定資産税につき課税免除

3 進出前の各種情報提供・マッチングいたします

- ・物件探しに関するアシスト(工場用地, 工場・事務所物件, 社宅等)
- ・市内企業とのアライアンス構築に関するマッチング
- ・公立はこだて未来大学や函館高専など市内高等教育機関とのマッチング など

4 雇用のサポートいたします

- ・ハローワークや民間就職関連会社との橋渡し
- ・市主催合同企業説明会への参加
- ・市内大学や高校の就職担当との橋渡し など
- ・函館しごとネットへの登録

5 進出後のお困りごとにもご相談ください

- ・企業誘致担当課が窓口として進出後も各種相談に応じます
- ・進出企業への各種情報提供 など

何でもご相談
ください！！



よくある質問

❶ 北海道は積雪が多いと聞いていますが、生産活動への影響はありませんか

函館市は北海道内の他地域と比べて、積雪量・降雪量ともに少ない地域です。
さらに真夏日・真冬日も北海道内ではともに少なく、とても過ごしやすい地域です。

❷ 人材確保に関する支援はありますか

函館市で運営している地域の仕事に関するポータルサイト「函館しごとネット」にて、進出企業様の企業・求人情報を無料（取材込み）で掲載いたします。
また、合同企業説明会への出展や市内人材紹介エージェント等への紹介も行っております。

❸ 新たに拠点などを設置する際に補助金などの支援制度はありますか

支援制度は現地視察、拠点開設費用、人材採用まで幅広く扱っております。
詳細は「企業誘致・立地ガイド」Webサイトをご覧ください。
オンラインもしくは御社に直接お伺いして説明させていただくことも可能です。

❹ 支援体制はどうなってますか

現地視察の段階から調整等のお手伝いをさせていただきます。
立地後も当課担当が窓口として各種相談や採用サポート、事業者マッチング等に応じます。

函館市経済部 工業振興課企業立地担当

〒040-8666 北海道函館市東雲町4番13号

電話：0138-21-3307 / FAX：0138-27-0460 / Email：yuchi@city.hakodate.hokkaido.jp



函館市企業誘致・立地ガイド
URL：https://h-invitation.jp/

函館市が運営する関連情報サイト



函館しごとネット
企業・求人情報を無料（取材込み）で掲載

函館しごとネット

企業・求人情報を無料（取材込み）で掲載



おいしい函館
TASTE HAKODATE FOODS

おいしい函館

食文化・観光・小売・サービス業など



WORK + VACATION
in HAKODATE

ワーケーション in 函館

ワークスペース・モデルコース情報など



函館市
移住定住ナビ

函館市移住定住ナビ

住まい・子育て・移住相談情報など

視察・調査活動 実施計画書 政務活動費 《事前》審査書		整理番号	0604003-1	
		会派名	富山市議会自由民主党	
		議員名	田辺 裕三	
■ 調 査 研 究 費	会 派 承 認 欄			
研 修 費	起 案 日	代 表 者	経 理 責 任 者	申 請 者 (議 員)
広 報 広 聴 費	R6.10.23			
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	承 認 日			
会 議 費	R 6 . 1 0 . 2 9			
資 料 作 成 費	特 記 事 項			
資 料 購 入 費	成田光雄 0612011 舎川智也 0609003 金谷幸則 0607004			
人 件 費	田辺裕三 0604003 高原 譲 0603011 飯山勝彦 0601005			
事 務 費				
項 目	内 容			留 意 点
1	実施者	飯山勝彦、高原譲、田辺裕三、金谷幸則、舎川智也、成田光雄(以上6名)		
2	実施日程	令和6年11月14日(木)～15日(金)		
3	行程	行程表の通り ※別途添付		
4	視察 1	視察・調査先	東京都千代田区永田町	
		視察・調査先 面談予定者	参議院会館会議室・東京都千代田区永田町2-1-1 国土交通省 都市局 国際・デジタル政策課 デジタル情報活用推進室ご担当	
		視察・調査の 目的、内容	【内容】3D都市モデルの整備「PLATEAU」のデータ利用の活用事例 【目的】国土交通省主導のデジタルデータの活用を学びスマートシティに活かす	
	視察 2	視察・調査先	東京都新宿区西新宿	
		視察・調査先 面談予定者	アジア航測(株)	
		視察・調査の 目的、内容	【内容】プラトーを使った全国事例と今後の利活用の可能性 【目的】民間での利活用の状況や今後の可能性を学び本市の政策に活かす	
	視察 3	視察・調査先	板橋区役所	
		視察・調査先 面談予定者	板橋区役所 デジタルツインご担当	
		視察・調査の 目的、内容	【内容】板橋区スマートシティデジタルツインの利活用状況を学ぶ 【目的】プラトーを使った実際の事例を学び本市での利活用の可能性を考える	
5	実施経費 及び 政務活動費の 支出予定額 (振込手数料含まない)	交通費	25,290円	
		日当	3,000円/日×2日=6,000円	
		宿泊費	14,600円	
		その他	手配料330円	
		合計額	46,220円	
		按分率(充当率)	100% ・ 50%	
		支出額(合計額×按分率)	46,220円	
6	取引規定	■抵触なし		

政務活動のための合理的な経路か、政務活動以外の行程が含まれていないか、宿泊が必要か。

目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、事前調査の結果等はどうか。

対象費用及び単価見積が適切か。政務活動費充当方法は適切か。按分率適用の分母は適切か。(混在不明瞭な部分が対象。明確な部分は当初除外してあるか。)

取引制限の確認

御 見 積 書

作成日：2024 年 10 月 21 日

富山市議会自由民主党 田辺 裕三 様



株式
会社

トマト旅行

行き先：東京

実施日：2024 年 11 月 14 日(木)～15 日(金)

人員：1 名様

〒939-8261 富山市萩原 250-1

TEL 076-428-5110 FAX 076-428-5102

国内旅行業務取扱管理者

担当

この度はお見積もり依頼をいただきまして誠にありがとうございます。下記の通りお見積もり申し上げますので、ご検討のうえご用命賜りますようお願い申し上げます。

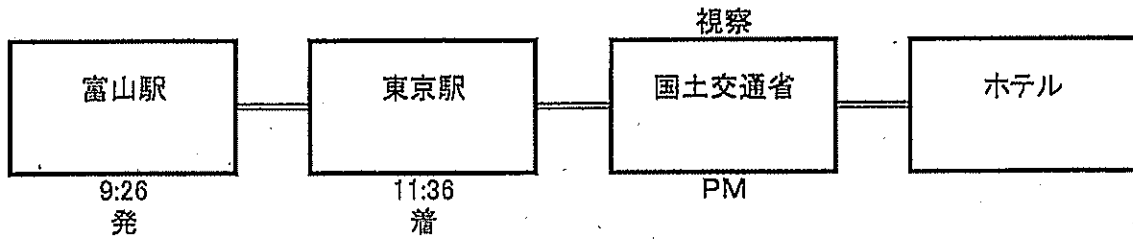
合計金額：¥40,220-			おひとり様 40,220 円	
項目名	人員・数	単価	金額	備考
ホテル宿泊費	1	14,600	14,600	1 泊食事なし・税込
JR 券	1	12,760	12,760	富山→東京
	1	12,530	12,530	大宮→富山
手配料	1	330	330	
		合計金額	40,220	

○ ご宿泊は アパホテル&リゾート 六本木駅東・禁煙シングルルームご利用としまして。

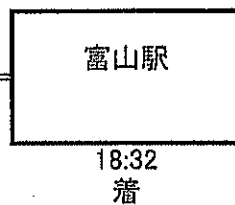
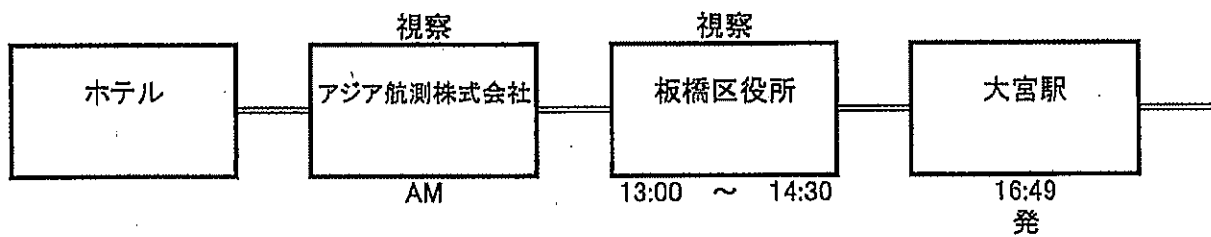
富山市議会 自由民主党 視察行程表

日程 令和 6 年 11 月 14 日(木) ~ 15 日(金)

11月14日
(木)



11月15日
(金)



【視察項目】
国土交通省:プラトーを活用した全国自治体での取り組み
アジア航測:プラトーの活用の現状と民間での利活用
板橋区:デジタルツインについて

【備考】

視察・調査活動 実績報告書 政務活動費【事後】審査書 兼 支出伝票				整理番号	0604003-2		
				会派名	富山市議会自由民主党		
				議員名	田辺 裕三		
■	調 査 研 究 費	起 案 日		会 派 承 認 欄			
□	研 修 費	R7.1.24		代表者	経理責任者	申請者(議員)	
□	広 報 広 聴 費	承 認 日					
□	要 請 ・ 陳 情 活 動 費	R 7. 1. 31					
□	会 議 費	支払件数	/	支払日(口座振込完了日)		R 7. 2. 3	
□	資 料 作 成 費	起 案 日		支 払 完 了 報 告			
□	資 料 購 入 費	R 7. 2. 3		代表者	経理責任者	申請者(議員)	
□	人 件 費	承 認 日					
□	事 務 費	R 7. 2. 5					
特 記 事 項							
成田光雄 0612011 舎川智也 0609003 金谷幸則 0607004 田辺裕三 0604003 高原 譲 0603011 飯山勝彦 0601005							
項 目		内 容				留意点	
1	実施者	飯山勝彦、高原譲、田辺裕三、金谷幸則、舎川智也、成田光雄(以上6名)					
2	実施日程	令和6年11月14日(木)～15日(金)				政務活動のための合理的な経路か。政務活動以外の行程が含ま	
3	行程	行程表のとおり※別途添付					
4	視察 1	視察・調査先	国土交通省都市局国際・デジタル政策課				目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、事前調査の結果等はどうか。
		視察・調査先 面談者	内閣府地方創生推進室都市可視化調整官 村山弘晃 デジタル情報活用推進室 竹腰 優太				
		視察・調査の 目的、内容	【内容】3D都市モデルの整備「PLATEAU」のデータ利用の活用事例 【目的】国土交通省主導のデジタルデータの活用を学びスマートシティに活かす				
	視察 2	視察・調査先	アジア航測(株)				
		視察・調査先 面談者	経営戦略本部中部支社長 山口 和也 				
		視察・調査の 目的、内容	【内容】プラトーを使った全国事例と今後の利活用の可能性 【目的】民間での利活用の状況や今後の可能性を学び本市の政策に活かす				
	視察 3	視察・調査先	板橋区役所				
		視察・調査先 面談者	板橋区都市整備部都市計画課長 千葉 享二				
		視察・調査の 目的、内容	【内容】板橋区スマートシティデジタルツインの利活用状況を学ぶ 【目的】プラトーを使った実際の事例を学び本市での利活用の可能性を考える				

	項 目	内 容	留意点
	視察・調査活動の内容	【視察①】国土交通省から都市空間情報デジタルとして航空測量・航空レーザーにより地上の地形を捉えて可視化にすることによって 3D モデルで 仮想空間でのモデル都市を実現していく点は最も有効だと感じた。デジタルで様々なユースケースを設定し仮想の都市空間をデザインすることでいろいろな課題解決につながる。とても興味深く①浸水シュミレーション②カーボンニュートラル推進支援システム③開発許可 などができる所を見させていただき大変参考になった。 【視察②】アジア航測(株)では民間でいろいろな取り組みをしている事例を紹介して頂きました。特に興味深かった内容は河川の決壊による浸水シュミレーションを可視化した映像を公開している取り組みがありました。リアル感があり時間との被害想定がよく理解できた。 【視察③】板橋区役所では実際にプラトールを運用しての課題解決、今後の利活用などについて聴かせて頂きました。板橋区は荒川氾濫時に浸水被害が大きく水害リスクの高さが課題となっており高台への早期水平避難を推奨していることから避難経路と水害リスクを可視化し住民の防災意識啓発に取り組んでいる。高島平団地では車の交通渋滞緩和あるいは 駅までの人の動線を可視化し街を様々な形でモデル化している取り組みが興味深かった。	目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、会派内での報告・情報共有等の対応等。
5	市政への影響、反映、成果等	今回の視察では国の補助制度・全国各自治体での取り組み内容・民間企業の取り組み・と3つの観点からプラトールについていろいろ視察させていただいた。その中で再生可能エネルギー(太陽光発電パネル)を個人の住宅屋根や会社などのビルディング外壁に太陽光パネルを張り巡らせた場合、設置普及率によってどのくらいの発電量が見込めるのかというシュミレーションが最も興味深く感じた。富山市はカーボンニュートラルシティを表明していることからこの取り組みは是非取入れを検討すべきではないか。北陸電力・Easy ソーラーと富山市の ZEH 補助制度をマッチングさせ利用の普及啓蒙に取り組んだ場合のシュミレーションは面白いと思う。本市に促してみよう考える。自然災害(地震・津波・豪雨・河川氾濫など)を想定した被害シュミレーションや防災の対策立案に大いに役立つのではと感じました。費用対効果がどの程度見込めるのか今後検証が必要。富山市の未来都市モデルを可視化するためにもとっても有効な事例だと思う。	政務活動のみの内容か。政務活動以外の政党活動、選挙活動、後援会活動等とみなされる表現、構成になっていないか。 政務活動費を支出できる内容か。(金額、1/2、支出不可)
	その他及び政務活動以外で取り扱った内容	無し	

項 目		内 容			留意点	
実施経費 及び 政務活動費支出額	旅費	支出金額	39,890円	支出方法	☐ 債権者口座 ☒ 議員口座（立替）	対象費用及び単価見積が適切か。 按分率適用の分母は適切か。 政務活動費充当方法は適切か。 （混在不明確な部分が対象。明確な部分は当初除外してあるか。）
		支出先	田辺議員立替え 立替え先(株)トマト旅行			
		支出内容及び積算根拠	富山→東京 大宮→富山 JR25,290円 ホテル宿泊費14,600円 別紙領収書のとおり			
	手配料	支出金額	330円	支出方法	☐ 債権者口座 ☒ 議員口座（立替）	
		支出先	田辺議員立替え 立替え先(株)トマト旅行			
		支出内容及び積算根拠	手配料			
	日当	支出金額	6,000円	支出方法	☐ 債権者口座 ☒ 議員口座（立替）	
		支出先	田辺議員立替え			
		支出内容及び積算根拠	11月14日・15日 日当3,000円×2日=6,000円			
		支出金額		支出方法	☐ 債権者口座 ☐ 議員口座（立替）	
		支出先				
		支出内容及び積算根拠				
取引規定		■抵触なし				
経費総額		46,220円	按分率 (充当率)	100%・50%		
按分率適用対象経費 及び 按分理由						
政務活動費 支出(充当)額		46,220円				

○恐れ入りますが、振り込み手数料はお客様のご負担でお願いいたします。

貼付用紙

領収証

富山県議会自由民主党

田辺 裕三

様

消費税区分

No. 10%対象合計(税込)

¥ 40,220,-

8%対象合計(税込)

¥

対象外

¥

金額

¥ 40,220,-

JR券 宿泊費分

6年 11月 8日 上記正に領収いたしました

内訳

税抜金額

消費税額等(%)

株式会社

トマロ旅行

〒939-8261 富山県新津市萩原250番地1

TEL (076) 428-5110

FAX (076) 428-5102

登録番号T6230001003642

コクヨ ウケ-50

振 替 証 明 書

会派名 富山市議会自由民主党

金 額	46,220	円
-----	--------	---

上記金額を次の者の口座へ振替したことを証明します。

令和7年2月3日

経理責任者

豊岡 達郎



氏 名	田 辺 裕 三	受領印	
-----	---------	-----	--



№ 0604003

10

年 月 日	摘 要	お 支 払 い 金 額 (円)	お 預 かり 金 額 (円)	差 し 引 き 残 高 (円)
107-02-03		*3,880	トマソンフ	*17,546,106
207-02-03*		*46,220	普通預金田辺誠員	*17,499,886
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				

13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

(お知らせ)

1. 通帳のご提出のあるお取引のときは年月日欄に#と表示します。
2. 紐付預金をお付け入れのときは、お支払い金額欄に次のとおり表示します。

タケノコ
トリクデー

お支払いできる日
お支払できる金額は、所定の
不超過通帳限度額となります。

(繰越差引き残高を新通帳へ繰り越しました。)

13

普通預金通帳

店番号

口座番号

富山市議会自由民主党様



北陸銀行

名刺一覧

国土交通省



国土交通省 都市局 国際・デジタル政策課
デジタル情報活用推進室 企画専門官

内閣府 地方創生推進室 都市可視化調整官

村山 弘晃

MURAYAMA Hiroteru

〒100-8918
東京都千代田区霞が関2-1-3 6階
Tel:03-5253-8111 (内線 32232)
:03-5253-8955 (直通)
E-mail:murayama-h82ac@mlit.go.jp



国土交通省 都市局
国際・デジタル政策課

デジタル情報活用推進室

竹腰 優太

TAKEGOSHI Yuta

〒100-8918
東京都千代田区霞が関2-1-3
Tel:03-5253-8422 (内線 32264)
:03-5253-8397 (直通)
Fax:03-5253-1586
E-mail:takegoshi-y2rb@mlit.go.jp

アジア航測 (株)



経営戦略本部
中部支社長 (執行役員)

山口 和也



DX認定



アジア航測株式会社

〒462-0825 名古屋市北区大曽根三丁目15-59 大曽根フロントビル
☎(052)919-0155/FAX(052)919-0320
E-mail:
<https://www.ajiko.co.jp/>

森林認証紙使用



DX認定

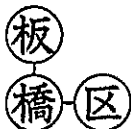


アジア航測株式会社

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-2-2 新百合21ビル
☎044-969-7620/FAX044-965-0028
E-mail:
<https://www.ajiko.co.jp/>

森林認証紙使用

板橋区役所



ITABASHI



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

板橋区都市整備部
都市計画課長

千葉 亨二

〒173-8501 東京都板橋区板橋二丁目66番1号
TEL03(3579)2551 FAX03(3579)5436
E-mail:chiba.kyoji@city.itabashi.tokyo.jp

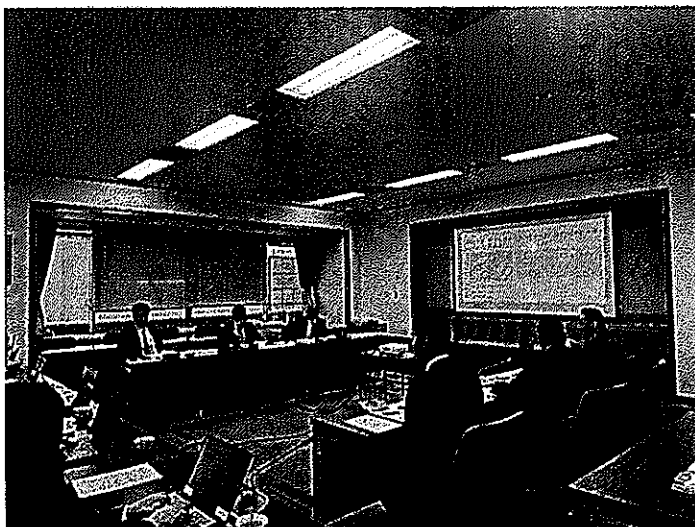
国土交通省



アジア航測(株)

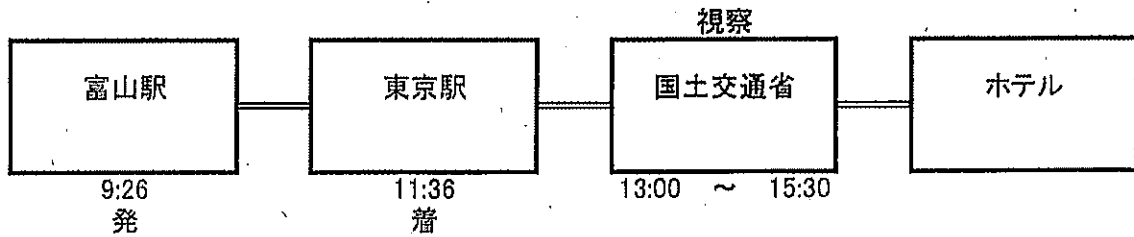
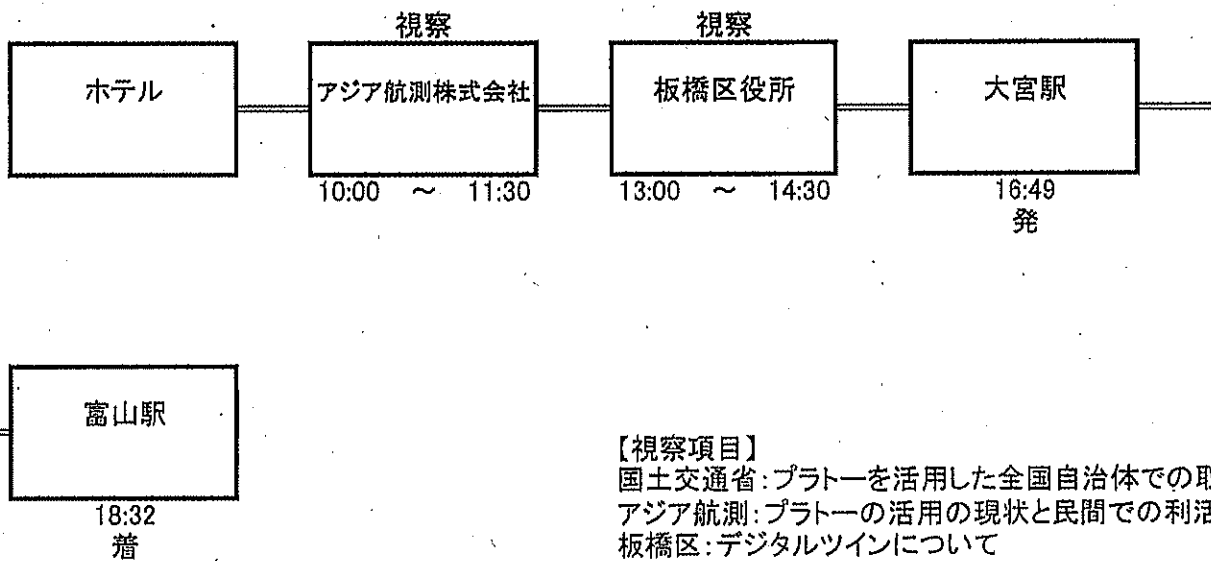


板橋区役所



富山市議会 自由民主党 視察行程表

日程 令和 6 年 11 月 14 日(木) ~ 15 日(金)

11月14日
(木)11月15日
(金)

【備考】

№ 0604003

著作権法により
公開できません

№0604003

著作権法により
公開できません

著作権法により
公開できません

板橋区への質問事項に対する回答

デジタルツインについて

① 3D 都市モデル導入に至った経緯について

3D 都市モデルは、2020年度国土交通省が取組を開始した際に、国と東京都で導入（作成）し、板橋区には LOD1（白い箱）のモデルが存在していた。

② プラトー導入から利用までの行程について

2021年度「BIM/CIM 等の 3D デジタル空間（デジタルツイン）」の活用推進を目的とした、都市計画課に調整・都市基盤 DX 係が発足した。

「BIM/CIM」の概念や技術を活用し、より広範囲な都市全体のデジタルツインである「3D 都市モデル (Plateau)」の活用推進を行うため、2021年度に「3D 都市モデル」「MaaS」「人流」に対する「スマートシティ・デジタルツインに関するサウンディング型市場調査」を行った。

- ・ 福山コンサルタントから事業提案があり、実証実験を開始する運びとなった。

- ・令和4年度の国土交通省の Plateu 直轄事業のユースケースとして選定された。

- ・開発者：福山コンサルタント

- ・フィールド：板橋区

- ・「AR を活用した災害リスク可視化ツール」の実証実験を行った。

- ・開発期間 9～10 か月程度

(※現在は、データがあれば2ヶ月～でも導入可能とのこと。)

- ・なお、当事業内で対象エリアの LOD2 (屋根形状とテクスチャ付) モデルを作成している。

<参考>

- ・板橋区は荒川氾濫時の浸水被害が大きく水害リスクの高さが課題となっている。

- ・高規格堤防等のハード整備ではなく、高台への早期水平避難(ソフト施策)を推奨していることから、避難経路と水害リスク可視化による防災意識啓発が必要になる。